

富士山麓トレッキング

所外での活動

標高 1,400～2,600mのトレッキングでは、素晴らしい眺望や刻々と変わる天候等、様々な富士山の自然を体験することができます。スタートは「御殿場口」「須走口」「富士宮口」のそれぞれの5合目からとなり、目的や体力等を考慮したコースの選択ができます。



場所	富士山麓周辺	対象	小学生以上
所要時間	4～8時間	人数	制限なし
時期	5～11月上旬	天候	小雨可 (荒天時要相談)
指導	指導員による指導あり	提出書類	【指導依頼申込欄】記入 実施計画書
経費	<ul style="list-style-type: none"> ・指導員1名につき36,000円 ・富士登山の場合：指導員1名につき71,000円 (その他山小屋に宿泊する費用は団体で負担) ・トイレ代(登山口によっては有料) ・富士宮口からのトレッキングは登山料が必要となる場合があります。 		

活動の教育的効果	<p>(1) 登りきる、歩き通すといった達成感を味わい、自信につながる。</p> <p>(2) 仲間と励まし合いながら登ったり、歩いたりすることで仲間意識が深まり、協調性を育むことができる。</p> <p>(3) 標高1,000m以上の厳しく雄大な自然を体感することができる。</p>
準備するもの	<p>団体が準備するもの</p> <p><input type="checkbox"/>個人：登山装備（雨具※セパレート推奨、防寒具等）</p> <p><input type="checkbox"/>団体：救急バッグ、トイレ代（登山口によっては有料）</p>
	<p>交流の家が貸し出すもの</p>
	<p><input type="checkbox"/>なし</p>
備考	<p><input type="checkbox"/>学校の場合、指導員は1クラスにつき1名以上を依頼すること。</p> <p><input type="checkbox"/>実施後にトレッキング指導に関するアンケートの回答にご協力ください。</p> <p><input type="checkbox"/>富士山麓トレッキングチェックリストを確認する。</p>

活動の流れ

富士山麓トレッキング

所外での活動

	時間	項目	内容	備考
活動内容 (手順)	事前	コース決定 申込書類提出 事前準備 事前指導	<input type="checkbox"/> コースを決定し、実施計画書を活動日の1週間前までに提出 <input type="checkbox"/> 引率者等による事前踏査 <input type="checkbox"/> 参加者への事前指導	
	当日 朝6時	実施決定の判断	<input type="checkbox"/> 職員が指導員へ天候等を確認 <input type="checkbox"/> 職員が引率責任者へ連絡し、団体は実施の最終判断をする。	
	出発 30分～ 1時間前	指導員および職員との打合せ	<input type="checkbox"/> 登山・トレッキング計画の確認 ①コースの確認 ②ガイドの配置 <input type="checkbox"/> 参加者の健康状態等の確認	
	直前	登山指導	<input type="checkbox"/> 指導員の紹介 <input type="checkbox"/> 歩き方等の注意点について <input type="checkbox"/> 高地順応（標高差に体を慣らす） <input type="checkbox"/> トイレの確認 <input type="checkbox"/> 準備体操	
	4～8 時間	登山 (トレッキング)	<input type="checkbox"/> 指導員の指導のもと、登山開始 <input type="checkbox"/> 参加者の人数、健康状態の把握 <input type="checkbox"/> 交流の家への定時連絡（4回）	
			下山・移動	<input type="checkbox"/> 参加者の人数、健康状態の確認
	10分	事後指導	<input type="checkbox"/> あいさつ	
想定される リスク	<input type="checkbox"/> 天候の変化による事故（落雷、濃霧による道迷い、雨による転倒等） <input type="checkbox"/> 疲労による事故 <input type="checkbox"/> 高山病 <input type="checkbox"/> 山の環境による事故（転倒、滑落、落石、捻挫、虫刺され） <input type="checkbox"/> 人的要因で起こる事故（不注意によるけが等）			
指導の バリエーション	<input type="checkbox"/> 自然観察や自然に親しむ等、自然との関わりを目的とした指導方法 <input type="checkbox"/> チームビルドを目的とした指導方法			

ウォークラリー (3.5km・7km・10km)

所外での活動

ウォークラリーは、グループで「コマ図」をたよりにコースを歩き、得点やタイムを競う活動です。ポイントに問題を設定することもできます。交流の家周辺の自然や街並みの中を歩き、各グループで協力しながら活動します。

場所	交流の家周辺	対象	小学生以上
所要時間	1～4.5時間	人数	何名でも可
時期	全シーズン	天候	荒天時不可
指導	職員指導あり ※安全指導のみ	提出書類	実施計画書
経費	なし		



活動の教育的効果	<p>(1) グループの仲間と全行程を歩くことで、自然に親しみ達成感を味わうとともに、互いに励まし合うことにより仲間意識を深めることができる。</p> <p>(2) グループの仲間と話し合っ順路を決定したり、課題を解決したりすることで、協調性を育んだり、コミュニケーション力をつけたりすることが期待できる。</p>
準備するもの	団体が準備するもの
	<input type="checkbox"/> 個人：筆記用具、帽子、水筒、必要に応じて雨具やタオル等 <input type="checkbox"/> 団体：問題用紙、ゴール問題、救急バッグ、グループ名簿、緊急連絡網等、オリエンテーリングマップ
	交流の家が貸し出すもの
	<input type="checkbox"/> コマ図 <input type="checkbox"/> バインダー <input type="checkbox"/> ビブス <input type="checkbox"/> プレートコンパス(数に限りがあります) ※回答はラミネートしたものの貸し出しが可能。 ※上記の物品は1グループに1セットの貸し出しが可能。
備考	<input type="checkbox"/> コマ図、問題用紙、ゴール問題はホームページからダウンロード可能。 <input type="checkbox"/> 緊急時の対応手段を決めておく。

活動の流れ

ウォークラリー（3.5km・7km・10km）

所外での活動

時間	項目	内容	備考
活動内容 (手順)	事前	コース決定 準備・指導	<input type="checkbox"/> コースを決定し、実施計画書を活動の1週間前までに提出 <input type="checkbox"/> 引率者による事前踏査 <input type="checkbox"/> グループ編成 <input type="checkbox"/> 実施計画書の提出
	出発前	実施決定の判断	<input type="checkbox"/> 実施判断 <input type="checkbox"/> 物品を受領 <input type="checkbox"/> 参加者の健康観察 <input type="checkbox"/> 本部設置 <input type="checkbox"/> 必要であれば机と椅子を準備
	直前 10分	活動方法の説明	<input type="checkbox"/> 活動の説明(職員より行います) ・競技の方法・コマ図の見方・安全指導 <input type="checkbox"/> 出発前にトイレを済ませる
	出発 1~4.5時間	交流の家 出発	<input type="checkbox"/> 時間差をつけて出発 <input type="checkbox"/> 各ポイントで人数確認、健康観察 <input type="checkbox"/> 緊急対応 <input type="checkbox"/> 定時連絡
	終了 30分	交流の家 到着	<input type="checkbox"/> 参加者の点呼、健康状態の確認 <input type="checkbox"/> 各団体の目的に応じた事後指導
	想定される リスク	<input type="checkbox"/> 天候の変化による事故（濃霧による迷子、雨による路面転倒、落雷等） <input type="checkbox"/> 疲労や集中力低下による事故（交差点での接触事故、走行車両の見落とし、熱中症等） <input type="checkbox"/> 道路環境による事故（側溝への転落、曲がり角での事故等） <input type="checkbox"/> 人的要因で起こる事故（車道に広がって歩くことによる接触事故等）	
指導の バリエーション	<input type="checkbox"/> 得点を競う競技として実施する。 <input type="checkbox"/> 各ポイントの課題を、ねらいに応じて設定する。 例：自然に親しむような課題。「ポイント近くで生えている草花をスケッチすること」等		

ウォークラリー各コースの概要

コース名	対象	歩行時間	特徴
①中畑西、滝ヶ原	小学生～大人	1.0～1.5時間	住宅地の舗装道路を歩く。
②野中山、龍王堂			住宅地の舗装道路を歩く。
③団合、大胡山	小学生～大人	2.0～3.0時間	周囲に田畑が多く、景色が良い。
④善龍寺、愛宕神社			林道を含めた住宅地を歩く。
⑤久保川、永塚	中学生～大人	3.0～3.5時間	住宅地が多く、緩やかな坂がある。
⑥八王子、玉穂			曲がり角が多く林道や住宅街を歩く。

※①～⑥までのそれぞれ2コースは反対周りで。例えば①の「中畑西」の反対周りが「滝ヶ原」です。

オリエンテーリング (スコア/ポイント)

オリエンテーリングは、地図を使ってポストを探しあて、得点やタイムを競う活動です。設定時間内でポストを探す「スコア オリエンテーリング O L」と、指定したポストを探す「ポイント オリエンテーリング O L」があります。また、グループ活動とすることで協調性を育むことができます。

場所	交流の家周辺	対象	小学生以上
所要時間	1.5～4.5 時間	人数	40 グループまで
時期	全シーズン	天候	小雨可 (荒天時は相談)
指導	職員指導あり ※安全指導のみ	提出書類	実施計画書
経費	なし		



活動の 教育的効果	<p>(1) 自然に触れることにより、自然に親しむ気持ちを育み、ポストを見つけた達成感を味わうことができる。</p> <p>(2) グループ活動とすることで、仲間と意見交換をしながら多くのポストを見つけることで、仲間意識が深まり、協調性を育むことができる。</p>
準備 するもの	団体が準備するもの
	<input type="checkbox"/> 個人：帽子、時計、水筒、必要に応じ雨具、タオル等 <input type="checkbox"/> 団体：解答用紙、救急バッグ、グループ名簿、緊急連絡簿、オリエンテーリングマップ
	交流の家が貸し出すもの
	<input type="checkbox"/> バインダー <input type="checkbox"/> ビブス <input type="checkbox"/> OL ポスト解答シート <input type="checkbox"/> プレートコンパス (数に限りがあります) ※解答はラミネートしたものの貸し出しが可能。 ※上記の物品は1グループに1セットの貸し出しが可能。
備考	<input type="checkbox"/> スコアオリエンテーリング：地図上にあるポストを設定時間内にまわり、得点を競う。 <input type="checkbox"/> ポイントオリエンテーリング：スタートからゴールまで、コースに設置されたポストを回り、所要時間を競う。 <input type="checkbox"/> マップはホームページからダウンロード可能。 <input type="checkbox"/> 緊急時の対応手段を決めておく。

活動の流れ

オリエンテーリング（スコア/ポイント）

所外での活動

	時間	項目	内容	備考
活動内容 (手順)	事前	活動方法の決定 事前準備・指導	<input type="checkbox"/> 活動方法を決定後、実施計画書を活動日の1週間前までに提出 <input type="checkbox"/> 引率者による事前踏査 <input type="checkbox"/> グループ編成	<input type="checkbox"/> 実施計画書の提出
	当日 活動前	実施決定の判断	<input type="checkbox"/> 実施判断 <input type="checkbox"/> 物品を受領 <input type="checkbox"/> 参加者の健康観察 <input type="checkbox"/> 本部設置	<input type="checkbox"/> 必要であれば机と椅子を準備
	10分	活動方法の説明と安全指導	<input type="checkbox"/> 活動方法の説明 ・活動方法の説明・安全の指導	<input type="checkbox"/> 出発前にトイレを済ませる
	90分～ 270分	交流の家 出発	<input type="checkbox"/> スタートの方法 ・全員が一斉にスタート ・時間差をつけてスタートする <input type="checkbox"/> 各ポイントで人数確認、健康観察	<input type="checkbox"/> 緊急対応 <input type="checkbox"/> 定時連絡
	20分	交流の家 到着	<input type="checkbox"/> 参加者の点呼、健康状態の確認 <input type="checkbox"/> 各団体の目的に応じた事後指導	
想定される リスク	<input type="checkbox"/> 天候の変化による事故（濃霧による迷子、雨による路面転倒、落雷等） <input type="checkbox"/> 疲労や集中力低下による事故（交差点での接触事故、走行車両の見落とし、熱中症等） <input type="checkbox"/> 道路環境による事故（側溝への転落、曲がり角での事故等） <input type="checkbox"/> 人的要因による事故（車道に広がって歩くことによる接触事故等）			
指導の バリエーション	<input type="checkbox"/> 団体独自の問題をつくり、ポストを探すとともに解答してスコアを競う。			

イングリッシュウォークラリー

イングリッシュウォークラリーは「コマ図」をたよりにリーダーによる英語の指示を理解しながらコースを歩き、得点やタイムを競う活動です。ポイントに問題を設定することもできます。交流の家周辺の自然や街並みの中を歩き、各グループで協力しながら活動します。

場所	交流の家周辺	対象	小学生以上
所要時間	1～2時間	人数	制限なし
時期	全シーズン	天候	荒天時不可
指導	職員指導あり ※安全指導のみ	提出書類	実施計画書 ※米海兵隊員と一緒に実施する場合は、 【指導依頼申込欄】記入が必要
経費	なし		



活動の教育的効果	<p>(1) グループの代表（指示をする人）がコマ図を見て、仲間に英語で道案内をすることで、英語での道案内に慣れ親しむことができる。</p> <p>(2) グループで指示された意味を理解しながら、所外を歩くことで、道案内をする英語のキーワードに慣れ親しみ、コミュニケーション力をつけることが期待できる。</p>
準備するもの	<p>団体が準備するもの</p> <p><input type="checkbox"/>個人：筆記用具、時計、帽子、水筒、必要に応じて雨具やタオル等</p> <p><input type="checkbox"/>団体：解答用紙、救急バッグ、グループ名簿、緊急連絡網等</p>
	<p>交流の家が貸し出すもの</p> <p><input type="checkbox"/>バインダー <input type="checkbox"/>ビブス</p> <p>※上記の物品は1グループに1セットの貸し出しが可能。</p>
	<p>備考</p> <p><input type="checkbox"/>問題用紙と解答用紙はホームページからダウンロード可能。</p> <p><input type="checkbox"/>緊急時の対応手段を決めておく。</p>

活動の流れ

イングリッシュウォークラリー

所外での活動

	時間	項目	内容	備考
活動内容 (手順)	事前	グループ 編成と ミーティ ング	<input type="checkbox"/> 実施計画書を活動日の1週間前までに提出 <input type="checkbox"/> 事前にグループ編成を行う。 <input type="checkbox"/> 指示者、指示をする順番等を決める。	<input type="checkbox"/> 実施計画書の提出 <input type="checkbox"/> 事前にグループ数を報告
	15分	活動方法 の説明と 安全指導	<input type="checkbox"/> 軽くウォーミングアップを行う。 <input type="checkbox"/> コマ図を各グループに配る。 <input type="checkbox"/> 活動の方法を説明する。 <input type="checkbox"/> 安全に関する注意を行う。	<input type="checkbox"/> 出発前にトイレを済ませる
	60~120分	交流の家 出発	<input type="checkbox"/> 一斉、または時間差をつけて出発 <input type="checkbox"/> 指示者は英語でグループに道案内をする。 <input type="checkbox"/> 指示者を交代して道案内をする。	<input type="checkbox"/> 緊急対応 <input type="checkbox"/> 定時連絡
	15分	交流の家 到着	<input type="checkbox"/> 参加者の点呼、健康状態の確認 <input type="checkbox"/> 目的や活動方法に応じたグループミーティングを行う。 <input type="checkbox"/> 貸出物品を返却する。	
想定される リスク	<input type="checkbox"/> 天候の変化による事故（濃霧による道迷い、雨による路面転倒、落雷等） <input type="checkbox"/> 疲労や集中力低下による事故（交差点での接触事故、走行車両の見落とし、熱中症等） <input type="checkbox"/> 道路環境による事故（側溝への転落、曲がり角での事故等） <input type="checkbox"/> 人的要因で起こる事故（車道に広がって歩くことによる接触事故等）			
指導の バリエーション	<input type="checkbox"/> 各班のリーダーをキャンプ富士（米軍）の海兵隊に依頼することも可能。（要相談） <input type="checkbox"/> 規定コースの各ポイントにオリジナルの問題を加える。 例：「What color is this?」「How do you say in English?」			

英語でいろいろな質問や会話をしてみよう！

- これはなんですか？ ⇒ What is this?
- いくつありますか？ ⇒ How many are there?
- これはどんな色ですか？ ⇒ What color is this?
- ～はどんな形ですか？ ⇒ What shape is ~?
- 何色が好きですか？ ⇒ What color do you like?
- 今日は晴れています。 ⇒ It's sunny today
- 今日は寒いです。 ⇒ It's cold today.

活動の流れ

ビジュアルオリエンテーリング

	時間	項目	内容	備考
活動内容 (手順)	事前	グループ 編成と ミーテ ィング	<input type="checkbox"/> 事前にグループ編成を行う。 <input type="checkbox"/> 目的や活動方法に応じたグループミーテ ィングを行う。 例：・時間内に何点とるか話し合う ・約束や目標を決める	事前にグル ープ数を報 告
	15分	活動方法 の説明と 安全指導	<input type="checkbox"/> 軽くウォーミングアップをする。 <input type="checkbox"/> 問題・解答用紙を各班に配付する。 <input type="checkbox"/> 活動の方法を説明する。 <input type="checkbox"/> 安全に関する注意を行う。	※指導は団 体責任者 (引率者)
	90～120分	活動	<input type="checkbox"/> （事前ミーティングを行わない場合）回 る順序等、行動計画を話し合う。 <input type="checkbox"/> 一斉、または時間差で出発する。	
	15分	集合 片付け	<input type="checkbox"/> メンバー全員を確認する。 <input type="checkbox"/> 解答を伝え、得点を集計する。 <input type="checkbox"/> 目的や活動方法に応じたグループミーテ ィングを行う。 例：・約束は守れたか ・目標が達成できたか ・できなかった理由は何か 等 <input type="checkbox"/> 貸出物品を返却する。	
想定される リスク	<input type="checkbox"/> 転倒、木の枝による傷 等 <input type="checkbox"/> 他団体の活動への支障			
指導の バリエーション	<input type="checkbox"/> 目的に応じて、活動後のミーティングの視点を設定。 例：他者理解 <input type="checkbox"/> 対象者の発達段階や時間に応じて、探検ラリー等、他の活動プログラムと併用して実施 することも可能。			

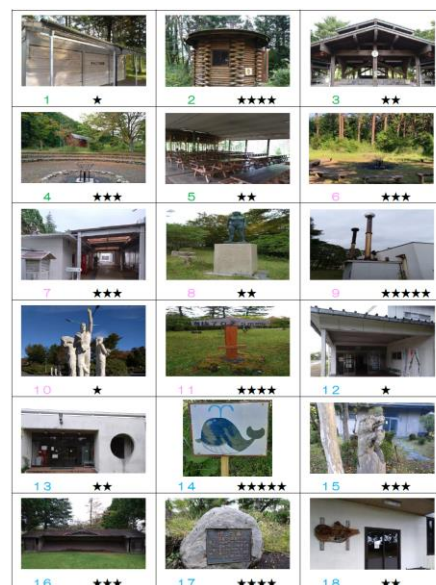
所内での活動

ビジュアルオリエンテーリング

問題用紙にある写真を手掛かりに、所内の建物や設置物を探す活動です。写真の場所を見つけ出す面白さや現在地を探る楽しさがあり、グループで活動するため仲間づくりにもなります。また、所内で活動するため、雨天プログラムや短時間プログラムとしても活用することができます。写真を使用した問題設定になっているため、外国の方も楽しめます。

所内での活動

場所	所内全域	対象	小学生以上
所要時間	1.5～2 時間	人数	1グループ6人程度
時期	全シーズン	天候	小雨可 (荒天時は相談)
指導	なし	提出書類	なし
経費	なし		



活動の教育的効果	<p>(1) グループで問題を解きながら活動することで、達成感を感じることや仲間と協力することの大切さを知ることができる。</p> <p>(2) 最初の活動プログラムとして行うことで、建物・施設の把握に役立てることができる。</p> <p>(3) 自然に関する要素が含まれており、環境に興味を持つ機会となる。</p>
準備するもの	団体が準備するもの
	<input type="checkbox"/> 個人：筆記用具、時計、雨具、水筒、帽子 <input type="checkbox"/> 団体：解答用紙、救急バッグ
	交流の家が貸し出すもの
	<input type="checkbox"/> バインダー ※上記の物品は1グループに1セットの貸し出しが可能。
備考	<input type="checkbox"/> 問題用紙と解答用紙はホームページからダウンロード可能。

活動の流れ

ビジュアルオリエンテーリング

	時間	項目	内容	備考
活動内容 (手順)	事前	グループ編成とミーティング	<input type="checkbox"/> 事前にグループ編成を行う。 <input type="checkbox"/> 目的や活動方法に応じたグループミーティングを行う。 例：・時間内に何点とるか話し合う ・約束や目標を決める	事前にグループ数を報告
	15分	活動方法の説明と安全指導	<input type="checkbox"/> 軽くウォーミングアップをする。 <input type="checkbox"/> 問題・解答用紙を各班に配付する。 <input type="checkbox"/> 活動の方法を説明する。 <input type="checkbox"/> 安全に関する注意を行う。	※指導は団体責任者（引率者）
	90～120分	活動	<input type="checkbox"/> （事前ミーティングを行わない場合）回る順序等、行動計画を話し合う。 <input type="checkbox"/> 一斉、または時間差で出発する。	
	15分	集合片付け	<input type="checkbox"/> メンバー全員を確認する。 <input type="checkbox"/> 解答を伝え、得点を集計する。 <input type="checkbox"/> 目的や活動方法に応じたグループミーティングを行う。 例：・約束は守れたか ・目標が達成できたか ・できなかった理由は何か 等 <input type="checkbox"/> 貸出物品を返却する。	
想定されるリスク	<input type="checkbox"/> 転倒、木の枝による傷 等 <input type="checkbox"/> 他団体の活動への支障			
指導のバリエーション	<input type="checkbox"/> 目的に応じて、活動後のミーティングの視点を設定。 例：他者理解 <input type="checkbox"/> 対象者の発達段階や時間に応じて、探検ラリー等、他の活動プログラムと併用して実施することも可能。			

所内での活動

ネイチャービジュアルオリエンテーリング

問題用紙にある写真を手掛かりに、所内の建物や設置物を探す活動です。シートにある写真の場所を見つけ出す面白さや現在地を探る楽しさがあり、グループで活動するため仲間づくりにもなります。また、所内で活動するため、雨天プログラムや短時間プログラムとしても活用することができます。写真を使用した問題設定になっているため、外国の方も楽しめます。

所内での活動

場所	所内全域	対象	小学生以上
所要時間	1.5～2時間	人数	1グループ6人程度
時期	全シーズン	天候	小雨可 (荒天時は相談)
指導	なし	提出書類	なし
経費	なし		



活動の教育的効果	<p>(1) グループで問題を解きながら活動することで、達成感を感じることや仲間と協力することの大切さを知ることができる。</p> <p>(2) 最初の活動プログラムとして行うことで、建物・施設の把握に役立てることができる。</p> <p>(3) 自然に関する要素が含まれており、環境に興味を持つ機会となる。</p>
準備するもの	<p>団体が準備するもの</p> <p><input type="checkbox"/>個人：筆記用具、時計、雨具、水筒、帽子</p> <p><input type="checkbox"/>団体：問題・解答用紙、ヒントカード、救急バッグ</p>
	<p>交流の家が貸し出すもの</p> <p><input type="checkbox"/>バインダー</p> <p>※上記の物品は1グループに1セットの貸し出しが可能。</p>
備考	<p><input type="checkbox"/>問題・解答用紙、ヒントカードはホームページからダウンロード可能。</p>

活動の流れ

ネイチャービジュアルオリエンテーリング

	時間	項目	内容	備考
活動内容 (手順)	事前	グループ 編成と ミーティ ング	<input type="checkbox"/> 事前にグループ編成を行う。 <input type="checkbox"/> 目的や活動方法に応じたグループミーティングを行う。 例：・時間内に何点とるか話し合う ・約束や目標を決める	事前にグループ数を報告
	15分	活動方法 の説明と 安全指導	<input type="checkbox"/> 軽くウォーミングアップをする。 <input type="checkbox"/> 問題・解答用紙、ヒントカードを各班に配付する。 <input type="checkbox"/> 活動の方法を説明する。 <input type="checkbox"/> 安全に関する注意を行う。	※指導は団体責任者(引率者)
	90～120分	活動	<input type="checkbox"/> （事前ミーティングを行わない場合）回る順序等、行動計画を話し合う。 <input type="checkbox"/> 一斉、または時間差で出発する。	
	15分	集合 片付け	<input type="checkbox"/> メンバー全員を確認する。 <input type="checkbox"/> 解答を伝え、得点を集計する。 <input type="checkbox"/> 目的や活動方法に応じたグループミーティングを行う。 例：・約束は守れたか ・目標が達成できたか ・できなかった理由は何か 等 <input type="checkbox"/> 貸出物品を返却する。	
想定される リスク	<input type="checkbox"/> 転倒、木の枝による傷 等 <input type="checkbox"/> 他団体の活動への支障			
指導の バリエーション	<input type="checkbox"/> 目的に応じて、活動後のミーティングの視点を設定。 例：他者理解 <input type="checkbox"/> 対象者の発達段階や時間に応じて、探検ラリー等、他の活動プログラムと併用して実施することも可能。			

所内での活動

ともだちゲット・ラリー

問題用紙にある写真を手掛かりに、所内の建物や設置物を探す活動です。シートにある写真の場所を見つけ出す面白さや現在地を探る楽しさがあり、グループで活動するため仲間づくりにもなります。また、所内で活動するため、雨天プログラムや短時間プログラムとしても活用することができます。写真やイラストを使用した問題設定になっているため、外国の方も楽しめます。

所内での活動

場所	所内全域	対象	幼児以上
所要時間	1.5～2 時間	人数	1グループ6人程度
時期	全シーズン	天候	小雨可 (荒天時は相談)
指導	なし	提出書類	なし
経費	なし		



活動の教育的効果	<p>(1) グループで問題を解きながら活動することで、達成感を感じることや仲間と協力することの大切さを知ることができる。</p> <p>(2) 最初の活動プログラムとして行うことで、建物・施設の把握に役立てることができる。</p> <p>(3) 自然に関する要素が含まれており、環境に興味を持つ機会となる。</p>
準備するもの	<p>団体が準備するもの</p> <p><input type="checkbox"/>個人：筆記用具、時計、雨具、水筒、帽子</p> <p><input type="checkbox"/>団体：問題・解答用紙、救急バッグ</p>
	<p>交流の家が貸し出すもの</p> <p><input type="checkbox"/>バインダー</p> <p>※上記の物品は1グループに1セットの貸し出しが可能。</p>
備考	<p><input type="checkbox"/>問題・解答用紙・ヒントカードはホームページからダウンロード可能。</p>

活動の流れ

ともだちゲット・ラリー

	時間	項目	内容	備考
活動内容 (手順)	事前	グループ編成とミーティング	<input type="checkbox"/> 事前にグループ編成を行う。 <input type="checkbox"/> 目的や活動方法に応じたグループミーティングを行う。 例：・時間内に何点とるか話し合う ・約束や目標を決める	事前にグループ数を報告
	15分	活動方法の説明と安全指導	<input type="checkbox"/> 軽くウォーミングアップをする。 <input type="checkbox"/> 問題・解答用紙を各班に配付する。 <input type="checkbox"/> 活動の方法を説明する。 <input type="checkbox"/> 安全に関する注意を行う。	※指導は団体責任者（引率者）
	90～120分	活動	<input type="checkbox"/> （事前ミーティングを行わない場合）回る順序等、行動計画を話し合う。 <input type="checkbox"/> 一斉、または時間差で出発する。	
	15分	集合片付け	<input type="checkbox"/> メンバー全員を確認する。 <input type="checkbox"/> 解答を伝え、得点を集計する。 <input type="checkbox"/> 目的や活動方法に応じたグループミーティングを行う。 例：・約束は守れたか ・目標が達成できたか ・できなかった理由は何か 等 <input type="checkbox"/> 貸出物品を返却する。	
想定されるリスク	<input type="checkbox"/> 転倒、木の枝による傷 等 <input type="checkbox"/> 他団体の活動への支障			
指導のバリエーション	<input type="checkbox"/> 目的に応じて、活動後のミーティングの視点を設定。 例：他者理解 <input type="checkbox"/> 対象者の発達段階や時間に応じて、探検ラリー等、他の活動プログラムと併用して実施することも可能。			

所内での活動

探検ラリー

15個の問題に挑戦しながら、グループで所内を探索します。難易度別に3種類のコースがあります。また、グループで活動するため仲間づくりにもなり、協力して活動することの楽しさや大切さを学ぶことができます。所内で活動するため、雨天プログラムや短時間プログラムとしても活用することができます。

所内での活動

場所	所内全域	対象	小学生以上
所要時間	1.5～2時間	人数	1グループ6人程度
時期	全シーズン	天候	小雨可 (荒天時は相談)
指導	なし	提出書類	なし
経費	なし		



活動の教育的効果	<p>(1) グループで問題を解きながら活動することで、達成感を感じたり、仲間と協力したりすることの大切さを知ることができる。</p> <p>(2) 最初の活動プログラムとして行うことで、建物・施設の把握に役立つことができる。</p>
準備するもの	<p style="text-align: center;">団体が準備するもの</p> <p><input type="checkbox"/>個人：筆記用具、時計、帽子、水筒、雨具</p> <p><input type="checkbox"/>団体：得点集計表（順位付けを行う場合）、救急バッグ</p>
	<p style="text-align: center;">交流の家が貸し出すもの</p> <p><input type="checkbox"/>問題用紙・解答用紙（各班1部） <input type="checkbox"/>模範解答 <input type="checkbox"/>バインダー</p>
備考	<p><input type="checkbox"/>問題用紙と解答用紙はホームページからダウンロード可能。</p> <p><input type="checkbox"/>各コースの実施対象の目安</p> <p style="margin-left: 20px;">Aコース（初級）：小学校1、2年生 Bコース（中級）：小学校3、4年生</p> <p style="margin-left: 20px;">Cコース（上級）：小学校5、6年生以上</p>

活動の流れ

探検ラリー

	時間	項目	内容	備考
活動内容 (手順)	事前	グループ編成とミーティング	<input type="checkbox"/> 事前にグループ編成を行う。 <input type="checkbox"/> 目的や活動方法に応じたグループミーティングを行う。 例：・時間内に何点とるか話し合う ・約束や目標を決める	事前にグループ数を報告
	15分	活動方法の説明と安全指導	<input type="checkbox"/> 軽くウォーミングアップをする。 <input type="checkbox"/> 問題・解答用紙を各班に配付する。 <input type="checkbox"/> 活動の方法を説明する。 <input type="checkbox"/> 安全に関する注意を行う。	※指導は団体責任者（引率者）
	90～120分	活動	<input type="checkbox"/> （事前ミーティングを行わない場合）回る順序等、行動計画を話し合う。 <input type="checkbox"/> 一斉、または時間差で出発する。	
	15分	集合片付け	<input type="checkbox"/> メンバー全員を確認する。 <input type="checkbox"/> 解答を伝え、得点を集計する。 <input type="checkbox"/> 目的や活動方法に応じたグループミーティングを行う。 例：・約束は守れたか ・目標が達成できたか ・できなかった理由は何か 等 <input type="checkbox"/> 貸出物品を返却する。	
想定されるリスク	<input type="checkbox"/> 転倒、木の枝による傷 等 <input type="checkbox"/> 他団体の活動への支障			
指導のバリエーション	<input type="checkbox"/> 活動の目的に応じて、活動後のミーティングの視点を設定。 例：他者理解→みんなの意見をとりまとめたのは誰ですか。 積極的に意見を出したのは誰ですか。 元気がないときに仲間を励ましたのは誰ですか。 等 <input type="checkbox"/> 他の所内オリエンテーリングの活動プログラムとの併用も可能。 例：ビジュアルオリエンテーリング と 探検ラリー（中級）等			

所内での活動

フードハンティングラリー

野外炊事を行う前に、グループごとに所内を歩いて、食材カードを探し、集めた食材カードと食材を引き換える活動です。グループごとに順路を決め、食材カードを獲得していくため、作戦を練る等自然とグループ内の会話が弾み、野外炊事へスムーズにつなげていくことができます。

所内での活動

場所	所内全域	対象	小学生以上
所要時間	1～1.5時間	人数	1グループ 6人～10人
時期	4月～11月 (野外炊事と同じ)	天候	小雨可 (荒天時は相談)
指導	なし	提出書類	なし
経費	なし		



活動の教育的効果	<p>(1) 仲間と意見交換しながら順路を決定し、食材カードを探すことで、コミュニケーション能力の向上を図ることができる。</p> <p>(2) 仲間とともに協力して、調理する食材カードを獲得することにより、達成感を味わうとともに仲間意識が深まり、協調性を育むことができる。</p>
準備するもの	<p>団体が準備するもの</p> <p><input type="checkbox"/>個人：筆記用具、水筒、帽子、タオル、時計、雨具</p> <p><input type="checkbox"/>団体：救急バッグ</p>
	<p>交流の家が貸し出すもの</p> <p><input type="checkbox"/>食材カード <input type="checkbox"/>ハンティングマップ <input type="checkbox"/>ハンティングの指令書 <input type="checkbox"/>バインダー</p> <p>※上記の物品は1グループ1セットの貸し出しが可能。</p>
備考	<p><input type="checkbox"/>指令書とハンティングマップはホームページからダウンロード可能。</p> <p>※指令書はカレーライス、ピザ、ほうとう、焼きそば、焼きそば・バーベキュー、焼きそば・米飯、炊き込みご飯・豚汁。</p> <p><input type="checkbox"/>開始前の食材カードの配置や、終了後の回収は各団体が行う（15～30分かかる）。</p> <p><input type="checkbox"/>雨天時はフードハンティングラリーを実施せずに、野外炊事の開始時刻を早めることも可能（事前に食堂へ連絡する必要があるため、調整時に要相談）。</p>

活動の流れ

フードハンティングラリー

	時間	項目	内容	備考
活動内容 (手順)	事前	事前準備 班分け	<input type="checkbox"/> 指導者による食材カードの設置。 <input type="checkbox"/> 指導者は「ハンティングマップ」・「ハンティングの指令書」の受け取り。	※野外炊事の班で行う
	10分	説明	<input type="checkbox"/> 全体の流れ（ルール）の説明 <input type="checkbox"/> 「ハンティングマップ」の説明	
	60~90分	活動	<input type="checkbox"/> 参加者は「ハンティングマップ」の説明と「ハンティングの指令書」をもとに食材カードを探す。 <input type="checkbox"/> 指導者は定位置を決め、参加者の「ハンティングマップ」に指導者待機場所の印をつける。 <input type="checkbox"/> 参加者に集合時間を必ず伝える。 <input type="checkbox"/> 指導者は食材の受け取りを行う。	※参加者に対して、何かあった場合は、近くの引率者に連絡することを伝える
	20分	食材の引渡し	<input type="checkbox"/> 食材カードと食材を交換する。 <input type="checkbox"/> 食材の引渡しが完了し次第、野外炊事に移る。	
	30分	片付け	<input type="checkbox"/> 食材カードを回収する。 <input type="checkbox"/> 貸出物品を返却する。	
	引率者の配置・人数	<input type="checkbox"/> 指導者1名が必ず本部（スタート・ゴール地点）に残る。 <input type="checkbox"/> 他の指導者は、食材の受け取りを行い、指導者定位置場所にて待機する。		
想定されるリスク	<input type="checkbox"/> 転倒、木の枝等による傷 等 <input type="checkbox"/> 他団体の活動への支障 <input type="checkbox"/> 他のプログラムへの時間的な圧迫（食材カードが見つからないトラブルや食材の受け渡しに時間がかかる等により、後の活動プログラムへ支障を来す場合があるため、十分に時間を確保できる日程で実施する）			
指導のバリエーション	<input type="checkbox"/> チームビルディングを目的とした指導			

所内での活動

防災ラリー

所内に設置したポイントをグループで回り、ポイントごとに設けた、災害発生時や災害後に必要なことを疑似体験する課題を解決することで、防災に必要な知識を身に付け、行動力や判断力を養います。

場所	所内全域	対象	小学生以上
所要時間	おおむね2時間 (実施プログラムによる)	人数	1グループ6人程度 (6人以上の指導者)
時期	全シーズン	天候	小雨可 (荒天時は相談)
指導	なし	提出書類	なし
経費	なし		



所内での活動

活動の教育的効果	<p>(1) 各ポイントをどのように回るかをグループで考えることや課題をグループで解決することにより行動力や判断力を養う。</p> <p>(2) グループで活動する過程で生じる問題を乗り越えることで、達成感を感じたり、仲間と協力することの大切さを知ったりできる。</p>
準備するもの	団体が準備するもの
	<input type="checkbox"/> 個人：筆記用具、水筒、帽子、タオル、時計、雨具、軍手、靴底がきれいな靴もしくは靴カバー、問題用紙、回答用紙 <input type="checkbox"/> 団体：救急バッグ
	交流の家が貸し出すもの
	<input type="checkbox"/> 得点記録表・所内地図（各班1部） <input type="checkbox"/> 各プログラムの指導者用説明書 <input type="checkbox"/> 各プログラムで必要な物品（備考欄を参照）
備考	<input type="checkbox"/> 各プログラムの実施方法・問題用紙・解答用紙はホームページからダウンロード可能。 <input type="checkbox"/> プログラムの種類と貸出可能な物品 <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで脱出！：30m程度のロープ 数本 ・火消し隊出動！：ストップウォッチ、的、水消火器 ・防災クイズ：○×クイズ ・土のうをつくろう：スコップ、土のう袋 ・備蓄品カード合わせ：A4サイズの備蓄品カード ・ケガ人救助：毛布、竹ざお

活動の流れ

防災ラリー

	時間	項目	内容	備考
活動内容 (手順)	事前	グループ編成とミーティング	<input type="checkbox"/> 事前にグループ編成を行う。 <input type="checkbox"/> 目的や活動方法に応じたグループミーティングを行う。 例：・回る順番を決める ・グループの約束や目標を決める	事前にグループ数の報告
		準備	<input type="checkbox"/> 各ポイントに課題を設置する。	
	10分	活動方法の説明と安全指導	<input type="checkbox"/> 軽くウォーミングアップを行う。 <input type="checkbox"/> 得点表・解答用紙等を各班に配付する。 <input type="checkbox"/> 活動の方法を説明する。 <input type="checkbox"/> 安全に関する注意を行う。	
	90～120分	活動	<input type="checkbox"/> (事前ミーティングを行わない場合) 回る順序等、行動計画を話し合う。 <input type="checkbox"/> 一斉、または時間差でスタートする。	各ポイントには指導者が付き、説明及び採点
	10分	集合片付け	<input type="checkbox"/> グループメンバー全員を確認する。 <input type="checkbox"/> 得点を集計する。 <input type="checkbox"/> 目的や活動方法に応じたグループミーティングを行う。 例：・約束は守れたか ・目標が達成できた(できなかった)理由は何か <input type="checkbox"/> 貸出物品を返却する。	
想定されるリスク	<input type="checkbox"/> 転倒、木の枝等による傷 等 <input type="checkbox"/> 他団体の活動への支障			
指導のバリエーション	<input type="checkbox"/> 活動の目的に応じて、活動後のミーティングの視点を設定。 例：他者理解→みんなの意見を取りまとめたのは誰ですか。 積極的に意見を出したのは誰ですか。 元気がないときに仲間を励ましたのは誰ですか。 等 <input type="checkbox"/> 活動後、防災に関する講義を行う 例：正常性バイアスの説明 等 <input type="checkbox"/> 団体の年齢や活動時間に応じて実施するプログラムの数を変更可。			

所内での活動

SDGs ミッションウォークラリー

所内に設置された17ヶ所のポイントを制限時間内にできるだけ多く回り、SDGsの目標について知ることを目指します。ポイントによっては、「ミッション」が設けられており、SDGsや世界で起きている状況を体験的に学ぶことができます。

所内での活動

場所	所内全域	対象	小学生以上
所要時間	1.5～2時間	人数	1グループ6人程度
時期	全シーズン	天候	小雨可 (荒天時は相談)
指導	なし	提出書類	なし
経費	なし		



活動の教育的効果	<p>(1) グループで意見交換しながら回る順序を決定し、ポイントを探しながら「クイズ」「ミッション」に取り組むことで、コミュニケーション能力や協調性を養うことができる。</p> <p>(2) できるだけ多くのポイントを回ることを目標にすることで、本活動プログラムへの積極的な参加を促しながら、SDGsの目標について学ぶことができる。</p>
準備するもの	<p style="text-align: center;">団体が準備するもの</p> <p><input type="checkbox"/>個人：筆記用具、帽子、水筒、時計、必要に応じて雨具</p> <p><input type="checkbox"/>団体：解答用紙、救急バッグ、ミッションに必要な物品「命のメジャー」（ユニセフHPより印刷可）</p>
	<p style="text-align: center;">交流の家が貸し出すもの</p> <p><input type="checkbox"/>マップ <input type="checkbox"/>模範解答 <input type="checkbox"/>バインダー</p> <p><input type="checkbox"/>ミッションに必要な物品（目標①ごみの分別）</p>
	<p>備考</p> <p><input type="checkbox"/>マップと解答用紙はホームページからダウンロード可能。</p>

活動の流れ

SDGs ミッションウォークラリー

	時間	項目	内容	備考
活動内容 (手順)	事前	グループ編成と ミーティング (当所、 学校など)	<input type="checkbox"/> 事前にグループ編成を行う。 <input type="checkbox"/> SDGs について学ぶ。 <input type="checkbox"/> 目的や活動方法に応じたグループミーティングを行う。 例：・制限時間内にどう回るか話し合う ・グループの約束や目標を決める	バインダー等の貸出しを希望する場合は、事前に班数を当所に報告する。
	15分	活動方法の説明と 安全指導	<input type="checkbox"/> 解答用紙を各班に配付する。 <input type="checkbox"/> 活動の方法を説明する。 <input type="checkbox"/> 安全に関する注意を行う。 <input type="checkbox"/> グループごとにスタートする番号を決める。 <input type="checkbox"/> 軽くウォーミングアップを行う。	※指導は団体責任者（引率者）が行う。
	60~90分	活動（当所）	<input type="checkbox"/> （事前ミーティングを行わない場合）回る順序など、行動計画を話し合う。	
	15~30分	集合 片付け 振り返り (当所、 学校など)	<input type="checkbox"/> グループメンバー全員の人数や体調などを確認する。 <input type="checkbox"/> 解答を伝える。 <input type="checkbox"/> 学んだことや気づいたことをグループで共有する。 <input type="checkbox"/> SDGs の目標達成に向けて、「行動宣言」をする。 例：「食べ残しをしない！」 <input type="checkbox"/> 貸出物品を返却する。	・「振り返り」は、他の活動も踏まえて、別のプログラムとして事後に実施することもできる。
想定される リスク	<input type="checkbox"/> 転倒、木の枝による傷 等 <input type="checkbox"/> 他団体の活動への支障 <input type="checkbox"/> 所内を通行する車両			
指導の バリエーション	<input type="checkbox"/> 活動の目的に応じて、活動後のミーティングの視点を設定。 <input type="checkbox"/> 事前事後に SDGs について学習し、本活動プログラムをその中の一つとして位置付ける。			

所内での活動

ナイトハイク

夜、月明かりや懐中電灯の明かりを頼りに、所内に設置した15ヶ所のポイントをグループで回ります。暗闇の中を仲間と一緒に歩くという、普段では体験することのできないワクワク・ドキドキ・ハラハラ感を味わうことができます。

所内での活動

場所	所内	対象	小学生以上
所要時間	1～1.5時間	人数	1グループ6人程度
時期	全シーズン (降雪時は注意)	天候	小雨可 (荒天時要相談)
指導	なし	提出書類	なし
経費	なし		



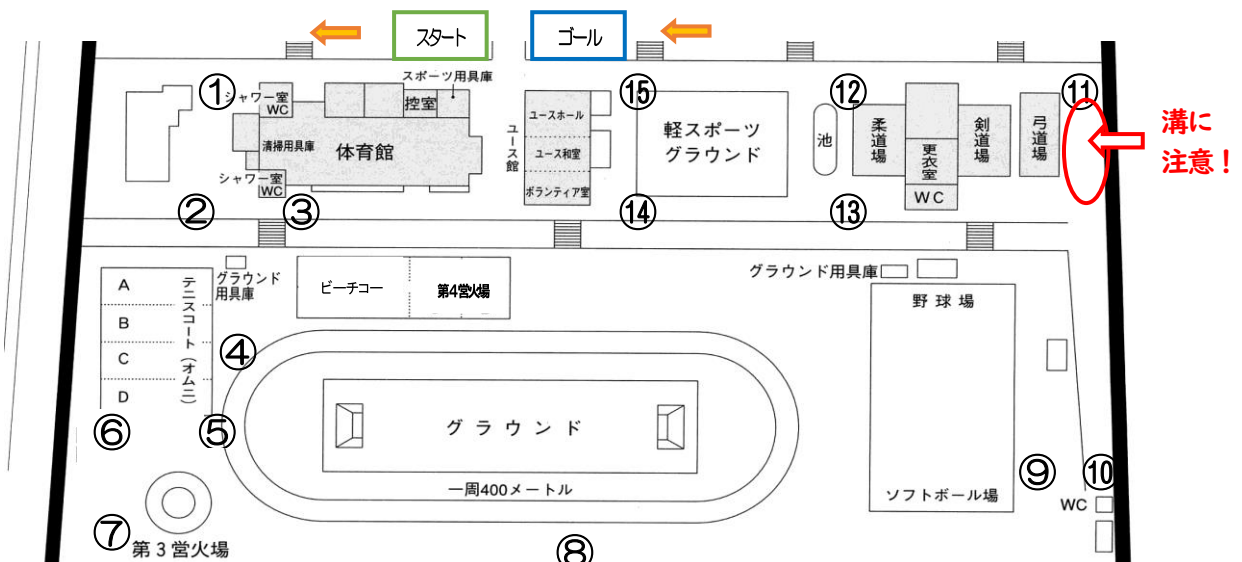
活動の教育的効果	<p>(1) 夜の世界の不思議さや怖さを感じることができる。また、改めて電灯のある生活の価値を見直すことにつながる。</p> <p>(2) グループで行動することにより、協調性が高まる。</p>
準備するもの	<p>団体が準備するもの</p> <p><input type="checkbox"/>個人：懐中電灯、筆記用具、長ズボン（けが防止）、虫よけスプレー（季節に応じて） ナイトハイクコースマップ</p>
	<p>交流の家が貸し出すもの</p> <p><input type="checkbox"/>バインダー</p>
	<p><input type="checkbox"/>コースマップはホームページからダウンロードが可能。</p> <p><input type="checkbox"/>複数団体が同じ時間帯で実施する場合も想定される。 (交流の家との調整段階で可能な限り重複を避けるようにする。)</p>

活動の流れ

ナイトハイク

	時間	項目	内容	備考
活動内容 (手順)	事前	グループ編成	<input type="checkbox"/> グループ編成を行い、スタートの順番を決める。	
	活動前	コース確認	<input type="checkbox"/> 日没前にコースの確認をする。 (指導者は事前に下見をしておくが良い。)	
		職員との打合せ	<input type="checkbox"/> コース、人数、安全確認(天候を含)等を確認する。 <input type="checkbox"/> 引率者は、各ポイントで通過した参加者をチェックするか、参加者と一緒に行動する。	
	10分	活動方法の説明と安全指導	<input type="checkbox"/> 集合・点呼・体調確認 <input type="checkbox"/> 服装・持ち物確認 <input type="checkbox"/> 地図・バインダー等の配付 <input type="checkbox"/> 活動方法の説明 (1) グループごとに、1分間程度の間隔をとってスタートする。 (2) 前のグループを追い越さない。 <input type="checkbox"/> 安全の指導 側溝や切り株、置き石等、足元に特に注意する。	
	60分程度	班別活動	<input type="checkbox"/> グループごとにスタートする。 <input type="checkbox"/> ゴールしたら静かに待機する。	
	10分	まとめ	<input type="checkbox"/> 参加者の点呼、健康状態の確認 <input type="checkbox"/> まとめの話	
想定されるリスク	<input type="checkbox"/> 転倒や側溝への転落等によるけが <input type="checkbox"/> 木の枝等による傷 <input type="checkbox"/> 虫刺され			
指導のバリエーション	<input type="checkbox"/> ポイントに目的に応じた課題を貼付する。 <input type="checkbox"/> ポイントに記号等を貼付し、それを書くことで通過を確認する。 →単独団体のみ実施の場合、記号等を貼付した場合は活動終了後に撤去する。 <input type="checkbox"/> オリエンテーリングのようにポイントを探す。			

所内での活動



自衛隊プログラム

自衛隊員が講師となり、講話や活動プログラムを行います。活動を通して、自衛隊について学んだり、災害時の対応などの学びを深めることもできます。

所内での活動

場所	所内または駐屯地	対象	小学生以上 (学校団体及び企業研修のみ)
所要時間	2～3 時間 (要相談)	人数	30 名程度 (要相談)
時期	平日のみ (実施不可の日有)	天候	制限なし
指導	指導員 (自衛隊員)	提出書類	【指導依頼申込欄】 記入 実施計画書
経費	なし		



活動の 教育的効果	<p>(1) 自衛隊について学ぶことができる。 (防衛講話・自衛隊の活動・「駐屯地の 1 日」ビデオ視聴)</p> <p>(2) 基本教練 (集団行動) により団体行動の大切さを学ぶことができる。</p> <p>(3) 衛生研修 (応急救護・応急搬送・心肺蘇生など) により、災害時の対応について学ぶことができる。</p>
準備 するもの	<p>団体が準備するもの</p> <p><input type="checkbox"/> 雨具 (雨天時に実施する場合) <input type="checkbox"/> 軍手 (必要な場合)</p>
	<p>交流の家が貸し出すもの</p>
	<p><input type="checkbox"/> なし</p>
備考	<p><input type="checkbox"/> 活動内容については、活動時間に応じて講師と相談して決めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 時期や人数によっては実施できないことがある。</p>

活動の流れ

自衛隊プログラム

	時間	項目	内容	備考
活動内容 (手順)	事前		<input type="checkbox"/> 活動場所に移動	
	120～180分	研修	<input type="checkbox"/> 事前に決定した内容を基に、自衛隊員による講話を聞く。 <input type="checkbox"/> 自衛隊の基本教練（集団行動）を受けることで、団体行動を学ぶ。 <input type="checkbox"/> 衛生研修により、災害時の対応を学ぶ。	
		振り返り	<input type="checkbox"/> 学んだことを振り返ることで、より理解を深める。	
想定されるリスク	<input type="checkbox"/> けが			
指導のバリエーション	<input type="checkbox"/> 自衛隊の活動・「駐屯地の1日」ビデオ視聴のセットで自衛隊について学ぶことができる。 <input type="checkbox"/> 衛生研修は、時間に応じて実施項目を選択できる。			

所内での活動

探究学習講話

探究学習とは何か・探究的な学習が必要とされている理由・探究学習の進め方など、探究学習の初歩的な内容の講話により、探究学習への動機づけを行います。

場所	講堂・研修室	対象	中学生以上
所要時間	1時間程度	人数	最大538名 (講堂の最大収容人数)
時期	全シーズン	天候	制限なし
指導	職員指導あり	提出書類	なし
経費	なし		



室内での活動

活動の教育的効果	(1) 探究学習とは何かを学ぶことができる。 (2) なぜ探究的な学習が必要とされるかを学ぶことができる。 (3) 具体的な探究学習の進め方を学ぶことができる。
準備するもの	団体が準備するもの
	<input type="checkbox"/> なし
	交流の家が貸し出すもの
	<input type="checkbox"/> なし
備考	<input type="checkbox"/> 講話内容については、活動時間に応じて職員と相談して決めることができる。 <input type="checkbox"/> 他団体と同じ時間帯の実施はできない。 <input type="checkbox"/> 職員が講師をする場合は、実施時間を9時から17時までとする。

活動の流れ

探究学習講話

	時間	項目	内容	備考
活動内容 (手順)	事前準備		□職員が行う。	
	30～60分	講話	□探究学習について職員からの講話を受ける。 □講話の中で、生徒に対し質問のやりとりをするなど、考える時間、相談する時間を設ける。	
想定されるリスク	□なし			

探究講話スライド例

「探究」って? ※「探求」でないよ

「探」 さがす (探検、探索)

「究」 きわめる (研究、究明)

物事の本質や意義を探って見究めようとする

なぜ探究的な学びが求められるのか

「普通」の概念が変わるとともに、「未知のもの」が多く起こりうるこれからの社会では、「未知」に対して、行動する力が求められている。

「未知のもの」に対しては、誰も正解を知らない。したがって、自ら考え、自分なりの「回答」を探し続ける力も大切になっている。

探究的な学びとは

- 自分の好きなこと、興味があること、深めたいことをちょっと外に広げていく時間
- 各教科で学んだことを「活かす」方法を身につける時間

室内での活動

すべらっぴ

自然素材を使い、手作りの良さや作る喜びを感じるとともに、研修の思い出の作品とします。

場所	研修室	対象	幼児以上
所要時間	1時間	人数	制限なし
時期	全シーズン	天候	制限なし
指導	なし	提出書類	教材注文票
経費	1セット100円（小板、紙やすり）		



室内での活動

活動の教育的効果	(1) 幼児が短時間で制作物を完成させることができる。 (2) 紙やすりの使い方やひもの通し方を学ぶことができる。 (3) 完成品が形として残るので、研修の思い出になる。
準備するもの	団体が準備するもの
	<input type="checkbox"/> 個人：装飾に使用する道具（ペン等） <input type="checkbox"/> 団体：雑巾等の布、すべらっぴ材料（教材注文票で注文し、事務室で受取）、ストラップ用のひも
	交流の家が貸し出すもの
	<input type="checkbox"/> なし
備考	<input type="checkbox"/> 作り方はホームページよりダウンロードが可能。 <input type="checkbox"/> 制作後、改めて木材を磨く際は、一度ひもを外してから磨く。ひもが付いた状態で磨くと、ひもが切れる場合がある。

活動の流れ

すべラップ

	時間	項目	内容	備考
活動内容 (手順)	事前	安全指導	<input type="checkbox"/> 紙やすりの取り扱い方法の説明。	
	10分	準備	<input type="checkbox"/> すべラップづくりの説明。	
	30分	作成	<input type="checkbox"/> 木材を紙やすりで磨く。 <input type="checkbox"/> 木材を布で磨く。 <input type="checkbox"/> 木材にひもを通す。 <input type="checkbox"/> 木材に絵や文字をデザインする。	引率者が安全管理を行う。
	10分	片付け	<input type="checkbox"/> 机上の整理、活動場所の清掃を行う。	
想定される リスク	<input type="checkbox"/> けが（紙やすりで指を削る） <input type="checkbox"/> ひもを上手く通すことができない。			
指導の バリエーション	<input type="checkbox"/> 他のクラフトを組み合わせる。 <input type="checkbox"/> 複数個を制作する（自分用とお土産用等）。			



木をしっかりと持ち、円を描くようにしながらやすりがけする。

丸木のマグネット

自然物を使い、自分自身で作品を作り上げる楽しさを味わいます。

場所	研修室	対象	幼児以上
所要時間	1～1.5時間	人数	制限なし
時期	全シーズン	天候	制限なし (雨天時のみも可)
指導	なし	提出書類	教材注文票
経費	1セット400円(小板、マグネット、装飾物)		



室内での活動

活動の教育的効果	(1) 自然物をどう配置するかを考えることで創造性を養うことができる。 (2) 細かい作業になるので、集中力を養うことができる。 (3) 完成品が形として残るので、研修の思い出になる。
準備するもの	団体が準備するもの
	<input type="checkbox"/> 個人：なし <input type="checkbox"/> 団体：新聞紙、ティッシュ、クラフトキット、容器（教材注文票で注文し、事務室で受取）、木工用ボンド 油性ペン（必要に応じて）
	交流の家が貸し出すもの
	<input type="checkbox"/> グルーガンセット(マグネットをつける時のみ使用 それ以外は木工用ボンド) <input type="checkbox"/> 延長コード(数に限りがあります) <input type="checkbox"/> ピンセット <input type="checkbox"/> テーブルクロス
備考	<input type="checkbox"/> 作り方はホームページよりダウンロードが可能。 <input type="checkbox"/> 公式 YouTube チャンネルにて動画も公開中。 https://www.youtube.com/watch?v=dLIVStWdIB0

活動の流れ

丸木のマグネット

	時間	項目	内容	備考
活動内容 (手順)	事前	安全指導	□ グルーガンの取り扱い方の説明。	
	30分	準備	□ 事務室で材料を受け取る。 □ 机を配置し、机の上に新聞紙を敷いてグルーガンを温める。 ※机に必ずテーブルクロスを敷く。 □ 材料を配付する。	
	40分	作成	□ 丸木のマグネットづくりの説明。 □ 木材の裏にグルーガンでホットボンドを付け、その上にマグネットをくっつける。 □ 装飾物の配置を考える。 □ 装飾物にボンドを付け、丸木の上に接着する。 □ 少し乾かしてからニスを塗る。	
	15分	片付け	□ 材料や用具を片付ける。 □ 机を雑巾で拭き、床の清掃を行う。 □ 材料を事務室へ返却する。	
想定されるリスク	□ グルーガンでのやけど □ 材料の誤飲			
指導のバリエーション	□ フォトスタンドと併せて実施可能。その場合、研修指導員による追加の指導料はかからない。			

室内での活動



材料一式
※装飾物・グルーガン等は10人に1セット程度



グルーガンでホットボンドを付け、マグネットを接着する。

富士山プレート

自然物を使い、自分自身で作品を作り上げる楽しさを味わいます。

場所	研修室	対象	幼児以上
所要時間	1～1.5時間	人数	制限なし
時期	全シーズン	天候	制限なし (雨天時のみも可)
指導	なし	提出書類	教材注文票
経費	1セット400円（富士山型板、小板、マグネット、装飾物）		



室内での活動

活動の 教育的効果	<p>(1) 富士山型の創作物なので、交流の家の思い出になる。</p> <p>(2) 細かい作業になるので、集中力を養うことができる。</p> <p>(3) 完成品が形として残るので、研修の思い出になる。</p>
準備 するもの	団体が準備するもの
	<input type="checkbox"/> 個人：なし <input type="checkbox"/> 団体：新聞紙、ティッシュ、クラフトキット（教材注文票で注文し、事務室で受取）、木工用ボンド、ポスカ（必要に応じて）
	交流の家が貸し出すもの
	<input type="checkbox"/> グルーガンセット(マグネットをつける時のみ使用 それ以外は木工用ボンド) <input type="checkbox"/> 延長コード(数に限りがあります)
備考	<input type="checkbox"/> 作り方はホームページよりダウンロードが可能。 <input type="checkbox"/> 公式 YouTube チャンネルにて動画も公開中。 https://www.youtube.com/watch?v=zz9hpLB6-SU

活動の流れ

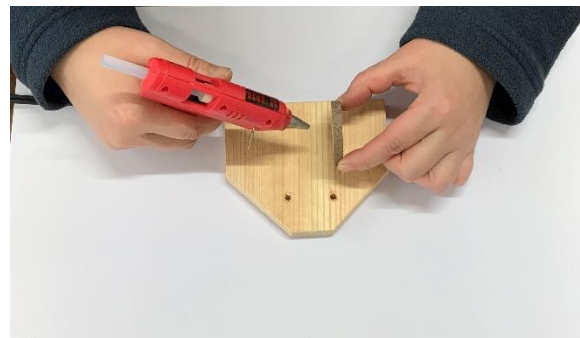
富士山プレート

	時間	項目	内容	備考
活動内容 (手順)	30分	準備	<input type="checkbox"/> 事務室で材料を受け取る。 <input type="checkbox"/> 机を配置し、机上に新聞紙を敷く。 <input type="checkbox"/> 材料を配付する。	
	10分	説明	<input type="checkbox"/> 作り方の説明。	
	40分	作成	<input type="checkbox"/> 配置を考える。 <input type="checkbox"/> 富士山型の木にポスカで色塗りをする。 <input type="checkbox"/> 装飾物にボンドを付け、丸木に接着する。 <input type="checkbox"/> プレートにグルーガンでホットボンドを付け、作った丸木をくっつける。 <input type="checkbox"/> 少し乾かしてからニスを塗る。 <input type="checkbox"/> プレートの穴に麻ひもを通し、結ぶ。	※上に積みすぎない、土台の横や後ろにはつけない
	15分	片付け	<input type="checkbox"/> 材料や用具を片付ける。 <input type="checkbox"/> 机を雑巾で拭き、床の清掃を行う。 <input type="checkbox"/> 材料を事務室へ返却する。	
想定されるリスク	<input type="checkbox"/> グルーガンでのやけど <input type="checkbox"/> 材料の誤飲			
指導のバリエーション	<input type="checkbox"/> フォトスタンドと併せて実施可能。その場合、研修指導員による追加の指導料はかからない。			

室内での活動



材料一式
※装飾物は10人に1セット程度



グルーガンでホットボンドを付け、丸木を接着する。

スプーン・フォーク作り

間伐材を使用したスプーン・フォーク等オリジナルの食器を作ります。太さ、曲がり具合、樹皮の色や模様等、様々なこだわりをもって自分だけの世界に 1 つだけのスプーンまたはフォークを制作します。

場所	研修室	対象	小学生以上
所要時間	30分～1時間 (穴あけなしの場合)	人数	交代制で 100名程度
時期	全シーズン	天候	制限なし (雨天時のみも可)
指導	なし	提出書類	教材注文票
経費	1セット400円 (スプーンまたはフォーク、木の柄、紙やすり)		



室内での活動

活動の教育的効果	(1) 様々な形や模様、手触りの異なる木があることに気づく。 (2) 間伐材を使用することで自然の大切さやSDGsについて考える機会となる。 (3) 自分で作ったカトラリーを使用することで、食への関心を深めることができる。
準備するもの	団体が準備するもの
	個人：なし 団体：新聞紙、クラフトキット（教材注文票で注文し、事務室にて受取）、ポスカ
	交流の家が貸し出すもの
	<input type="checkbox"/> グルーガンセット <input type="checkbox"/> 延長コード <input type="checkbox"/> ボール盤 ※クラフトキットと一緒に貸し出し。ただし、数には限りあり。
備考	<input type="checkbox"/> 作り方はホームページよりダウンロードが可能。 <input type="checkbox"/> 公式 YouTube チャンネルにて動画も公開中。 https://www.youtube.com/watch?v=vdh0VpJ6VOE

活動の流れ

スプーン・フォーク作り

	時間	項目	内容	備考
活動内容 (手順)	10分	準備	<input type="checkbox"/> 事務室にて材料を受け取る	
	5分	説明	<input type="checkbox"/> スプーンまたはフォークの作り方の説明	
	20~50分	作成	<p>【※は自分たちで穴をあける場合】</p> <p>※柄の中心にドリルが当たるようにボール盤に固定する。</p> <p>※ボール盤の電源を入れてドリルを下げ、穴をあける。</p> <p><input type="checkbox"/>穴にグルーガンでボンドを半分程度入れ、スプーン・フォークの先端を穴に差し込む。</p> <p><input type="checkbox"/>差し込み部をしっかりとグルーガンで固定する。</p> <p><input type="checkbox"/>柄にやすりをかける。</p> <p><input type="checkbox"/>ポスカで絵や字をかき、オリジナル作品を作る。</p> <p><input type="checkbox"/>蜜蠟<small>みつろう</small>ワックスを塗る。</p>	
	5分	片付け	<p><input type="checkbox"/>机を雑巾で拭き、床を掃除する。</p> <p><input type="checkbox"/>物品を事務室に返却する。</p>	
	想定されるリスク	<p><input type="checkbox"/>ボール盤の誤操作による接触事故</p> <p><input type="checkbox"/>グルーガンによるやけど</p>		
指導のバリエーション	<p><input type="checkbox"/>グルーガンの代わりに木工用ボンドを使用すると、接着に時間はかかるが、やけどのリスクを軽減できる。</p> <p><input type="checkbox"/>蜜蠟<small>みつろう</small>ワックスは自然素材のワックスで、木材の保護やツヤ出し、撥水等の効果がある。</p>			

室内での活動



ボール盤での穴あけ作業

ミニぞうりストラップ

かつて交通の要所として栄えた御殿場では、旅人の足となるぞうりやわらじづくりが盛んでした。麻ひもを使うことでストラップサイズのミニぞうりが作れます。

場所	研修室	対象	小学校4年生以上
所要時間	片足： 45分～1時間	人数	制限なし
時期	全シーズン	天候	制限なし (雨天時のみも可)
指導	なし	提出書類	なし
経費	なし		



室内での活動

活動の教育的効果	<p>(1) 麻ひもを手順に従って編んでいくことで、ぞうりづくりのスキルを身に付けることができる。</p> <p>(2) ぞうりづくりの際に、仲間とコミュニケーションをとり、教え合う等の活動を通して、協調性を養うことができる。</p> <p>(3) ぞうりが完成することで、達成感を味わうことができる。</p>
準備するもの	団体が準備するもの
	<input type="checkbox"/> 麻ひも（片足分：約2m）※綿製の毛糸での代用も可能
	交流の家が貸し出すもの
	<input type="checkbox"/> ヘアピン（1人1本） <input type="checkbox"/> クリップ（1人3個）※セロテープでも可 <input type="checkbox"/> 作成行程の説明パネル
備考	<input type="checkbox"/> 作り方はホームページよりダウンロードが可能。 <input type="checkbox"/> 作業工程が複雑なため、公式YouTubeチャンネルにて作り方を動画で確認することを推奨。 https://youtu.be/UHNkjk6IHcE

活動の流れ

ミニぞうりストラップ

	時間	項目	内容	備考
活動内容 (手順)	事前	安全指導	<input type="checkbox"/> 麻ひもを扱うことについての指導。	
	15分	準備	<input type="checkbox"/> ぞうりと富士山の関係について説明する。 <input type="checkbox"/> 麻ひも（片足分）を1m/50cm/10cmに分けて準備する。	
	60~90分	作成	<input type="checkbox"/> 芯縄に横ひもをかけて2回巻き付ける。 <input type="checkbox"/> 横ひもを編み込んでいく。 <input type="checkbox"/> 途中で、鼻緒になる部分を編み込む。 <input type="checkbox"/> 横ひもの編み込みが終わったところで、芯縄の2本を手前に引き、形を整える。	
	15分	片付け	<input type="checkbox"/> 麻ひもの切りくず等のゴミを掃除する。 <input type="checkbox"/> 物品を事務室に返却する。	
想定されるリスク	<input type="checkbox"/> けが（ひもによる引っ掛かり転倒、ひもが肌に触れた際に擦れる） <input type="checkbox"/> 繊維によるアレルギー反応の可能性			
指導のバリエーション	<input type="checkbox"/> 麻ひもではなく、太いひも（PEロープ等）や布（ひも状にして使用）を用いることで、実寸大のぞうりを作ることができる（この場合、材料となるひもがより長く必要になる）。			

室内での活動



御殿場と大わらじについて
御殿場わらじ大祭りホームページ「わらじ祭りの由来」
<https://www.gotemba-waraji.com/yurai/index.html>
（最終閲覧日：令和6年12月1日）

木工体験（フォトスタンド）

自然素材を使い、手づくりのよさや作る喜びを感じるとともに、研修の思い出となる作品を制作します。

場所	研修室	対象	小学生以上
所要時間	1.5 時間	人数	200 名程度まで
時期	全シーズン	天候	制限なし
指導	指導員	提出書類	【指導依頼申込欄】記入 教材注文票
経費	9,000 円／1 回の指導につき（参加者 60 名毎） 400 円／セット（ベース板、三角板、装飾物） ※ご利用日の2週間を過ぎての実施のキャンセルは指導料 100%がキャンセル料としてかかります。		



室内での活動

活動の教育的効果	<p>(1) 自然素材をどう配置するかを考えるため、創造性を養うことができる。</p> <p>(2) 細かい作業になるので、集中力を養うことができる。</p> <p>(3) 完成品が形として残るので、研修の思い出になる。</p>
準備するもの	団体が準備するもの
	<input type="checkbox"/> クラフトキット（指導員より配付）
	交流の家（指導員）が貸し出すもの
	<input type="checkbox"/> グルーガン <input type="checkbox"/> 装飾物（木の実や小枝） <input type="checkbox"/> 木工用ボンド <input type="checkbox"/> ウッドバーニングペン（電熱ペン） <input type="checkbox"/> 持ち帰り用の袋 <input type="checkbox"/> ピンセット
備考	<input type="checkbox"/> 指導員に依頼するため、雨天時のみの実施はできない。 <input type="checkbox"/> 他団体と同じ時間帯の実施はできない。

活動の流れ

木工体験（フォトスタンド）

	時間	項目	内容	備考
活動内容 (手順)	事前	安全指導	<input type="checkbox"/> 材料が間伐材でできていることを紹介する。 <input type="checkbox"/> 作業手順を説明。 <input type="checkbox"/> ウッドバーニングペンやグルーガンの取り扱い方法（やけど等への注意喚起）。	
	1時間～ 1時間15分	作成	<input type="checkbox"/> ベース板と三角板の角、表面のざらつきなど、サンドペーパーを使って滑らかにする。 <input type="checkbox"/> 写真を置く場所を決め、鉛筆で縁取りする。 <input type="checkbox"/> 写真を固定するため又は飾り付けるためのデコレーション素材を選ぶ。 <input type="checkbox"/> 選んだデコレーション素材を基材に仮配置し、デザインを確認する。 <input type="checkbox"/> 写真を固定するためのデコレーション素材をグルーガンで接着する。 <input type="checkbox"/> 写真の周りに飾り付けるデコレーション素材を接着する。 <input type="checkbox"/> ベース板を立てるための三角板を裏側にグルーガンで接着する。	
	15分	片付け	<input type="checkbox"/> 余ったデコレーション素材をもとの場所へ戻し、机の上を片付ける。	
想定されるリスク	<input type="checkbox"/> グルーガン、ウッドバーニングペンによるやけど			
指導のバリエーション	<input type="checkbox"/> 他のクラフト体験（すべラップ、丸木のマグネット、富士山プレート、ミニぞうりストラップ、スプーン・フォーク作り）と組み合わせて実施することができる。ただし、十分に時間を確保すること。※組み合わせる場合は、それぞれに材料代がかかる。			

室内での活動

ウッドバーニング ストラップ

電熱ペンを使って、間伐材のストラップを作ります。

場所	研修室	対象	小学校中学年以上
所要時間	30分～1時間	人数	50名程度
時期	全シーズン	天候	制限なし
指導	研修指導員	提出書類	教材注文票 【指導依頼申込欄】記入
経費	9,000円／1回の指導につき 400円／セット（小板、ストラップひも） ※ご利用日の2週間を過ぎてのキャンセルはキャンセル料がかかります。		



室内での活動

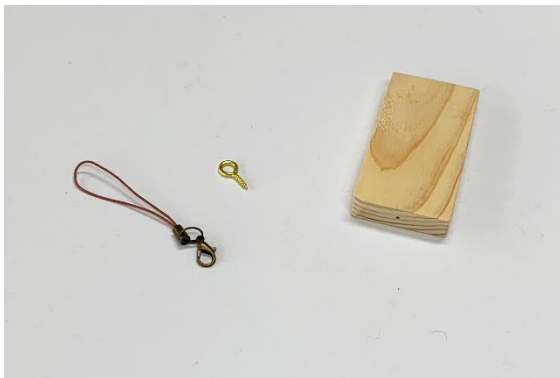
活動の 教育的効果	(1) 短時間で制作物を完成させることができる。 (2) 小板に字を書いたりひもを通したりして、手先を使った制作ができる。 (3) 間伐材を使用することで、自然の大切さやSDGsについて考える機会となる。
準備 するもの	団体が準備するもの
	<input type="checkbox"/> 個人：なし <input type="checkbox"/> 団体：新聞紙、クラフトキット（事務室にて受取）、ポスカや油性ペン（必要に応じて）
	交流の家が貸し出すもの
	<input type="checkbox"/> なし ※制作に関する機材（電熱ペン等）は指導員が用意。
備考	<input type="checkbox"/> 指導員に依頼するため、雨天時のみの活動はできない。 <input type="checkbox"/> 他団体と同じ時間帯での実施はできない。

活動の流れ

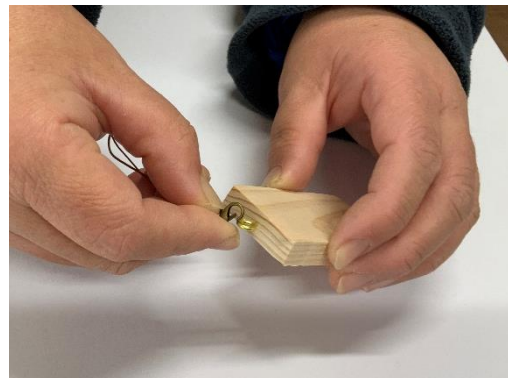
ウッドバーニングストラップ

	時間	項目	内容	備考
活動内容 (手順)	10分	準備	□事務室にて材料を受け取る。	
	5分	安全指導	□指導員による安全指導、作り方の説明。	
	15~20分	作成	□電熱ペン（ウッドバーニングペン）で、 絵や文字を書く。 □蜜蝋 <small>みつろう</small> ワックスを塗る。 □木材にストラップを通す。	
	5分	片付け	□机を雑巾で拭き、床の掃除をする。 □物品を事務室に返却する。	
想定される リスク	□よそ見や不注意による電熱ペンでのやけど			
指導の バリエーション	<p>□電熱ペンで書いたあとに、ポスカや油性ペン等で加筆する。</p> <p>□電熱ペンを使わず、ポスカや油性ペンだけで作る場合は、対象年齢が低くても制作が可能。</p> <p>□蜜蝋<small>みつろう</small>ワックスは自然素材のワックスで、木材の保護やツヤ出し、撥水等の効果があるが、塗らなくても完成できる。</p> <p>□電熱ペンを使用しない場合は、指導員への指導依頼を行わず、雨天時のみの活動も可能（その場合は材料費のみ）。</p>			

室内での活動



材料一式（小板は6cm程度）



ヒートンをねじ込み、ストラップを付ける。

野外炊事

薪で火をおこし、料理を作る体験を楽しむことができます。また、グループで協力して活動することの楽しさや大切さを学ぶことができ、仲間づくりにも効果のある活動です。

場所	野外活動棟 野外炊事棟	対象	小学生以上
所要時間	4～5時間 (石窯は温めに2時間程度)	人数	50班まで (1班8名程度)
時期	4月～11月 (これ以降は要相談)	天候	雨天時可 (荒天時は相談)
指導	職員指導あり ※着火まで	提出書類	教材注文票
経費	食材代：ホームページに掲載 薪代：650円/束 野外炊事用具使用料：100円/人・回		



活動の 教育的効果	(1) 野外で調理することの楽しさを味わう。 (2) 仲間と協力することの大切さを感じたり、作り上げる達成感を味わったりする。 (3) 水の使用量やゴミを減らすことで、環境を守る意欲・態度を育む。 (4) 野外で火をおこしたり、電気を使わずに調理したりすることで、防災力の向上を図る。
	団体が準備するもの
準備 するもの	<input type="checkbox"/> 食材（食堂に発注・持込不可） <input type="checkbox"/> 薪（食堂に発注・持込可） <input type="checkbox"/> マッチ又はライター <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> 新聞紙・牛乳パック等燃えやすいもの <input type="checkbox"/> 洗剤 <input type="checkbox"/> 金たわし <input type="checkbox"/> クレンザー <input type="checkbox"/> 生ごみ用ネット <input type="checkbox"/> スポンジ <input type="checkbox"/> ふきん <input type="checkbox"/> アルミホイル・ラップ（ピザの場合）
	交流の家が貸し出すもの
	<input type="checkbox"/> 調理器具（鍋、ボウル、ざる、包丁 等） <input type="checkbox"/> 食器（皿、茶わん、箸、スプーン 等） （必要に応じて） <input type="checkbox"/> 三角コーナー <input type="checkbox"/> さいばし <input type="checkbox"/> 食器用消毒アルコール 等
	あると便利なもの
備考	<input type="checkbox"/> 雑巾 <input type="checkbox"/> ピーラー
	<input type="checkbox"/> 食堂で野菜を切る等、対応可（追加料金必要）

特別な施設での活動

活動の流れ

野外炊事

	時間	項目	内容	備考
活動内容 (手順)	事前	役割分担	<input type="checkbox"/> グループ内で、役割を分担する。	
	30分	野外炊事の説明	<input type="checkbox"/> 活動エリアの説明★ <input type="checkbox"/> 全体の流れの説明 <input type="checkbox"/> 調理器具・食器の説明★ <input type="checkbox"/> 安全に関する注意★ <input type="checkbox"/> かまどの作り方・火のおこし方★ <input type="checkbox"/> ご飯の炊き方 <input type="checkbox"/> 調理の仕方 ★：職員より実施	
	10～20分	物品の受け取り	<input type="checkbox"/> 食材をレストランで受け取る。 <input type="checkbox"/> 調理器具・食器を野外炊事庫で借りる。 <input type="checkbox"/> 物品の数を確認する。	
	60分 (石窯の場合 プラス90分)	火起こし調理	<input type="checkbox"/> かまどを作る。 <input type="checkbox"/> 調理する。	
	30～40分	食事		
	40～60分	片付け	<input type="checkbox"/> 食器・調理器具を洗う。 <input type="checkbox"/> 灰を捨てる。 <input type="checkbox"/> 活動場所を清掃する。 <input type="checkbox"/> 職員の点検を受ける。 ※夕飯に野外炊事を行った際の点検は、翌朝等、事後に行う場合がある。	
	想定されるリスク	<input type="checkbox"/> 手を切る（包丁で食材を切るとき） <input type="checkbox"/> やけど（鍋ややかんを持つ、かまどに薪をくべる、衣服に火が燃え移る） <input type="checkbox"/> 転倒（走ったり、ふざけたりしてつまづく） <input type="checkbox"/> 腹痛（生焼け・生煮えの肉を食べる、食べ過ぎる）		
指導のバリエーション	<input type="checkbox"/> 協調性を育むことを目的とした指導の方法 <input type="checkbox"/> 環境に配慮した指導の方法 <input type="checkbox"/> 燃焼の仕組みを体験的に学ぶ指導の方法 <input type="checkbox"/> 防災力向上を目的とした指導の方法 <input type="checkbox"/> SDGsと関連させた指導の方法			

特別な施設での活動

焼き板

自然素材を使い、手づくりのよさや作る喜びを感じるとともに、研修の思い出となる作品を制作します。

場所	1～4号研修室	対象	小学生以上
所要時間	2～2.5時間	人数	10～50名程度
時期	全シーズン	天候	制限なし
指導	職員指導あり ※着火まで	提出書類	教材注文票
経費	300円/セット（杉板、ヒートン、ひも） ガスボンベ：250円/本（5人で1本が目安）		



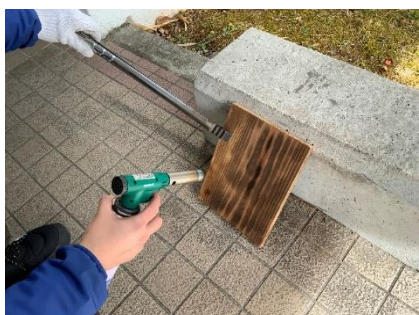
活動の 教育的効果	(1) 絵を描くことにより、創造性を養うことができる。
	(2) ガスバーナー等の器具の取り扱いを学ぶことができる。
準備 するもの	(3) 完成品が形として残るので、研修の思い出になる。
	(4) 表面を焼くことで炭化し、腐朽菌が繁殖しにくくなるため、雨風やシロアリに強い。
	団体が準備するもの
	<input type="checkbox"/> 個人：ポスカ、軍手 ※絵の具を使用することも可能。その際は絵の具セットを持参する。 ※絵の具の代わりに水性ペンでも可能 <input type="checkbox"/> 団体：新聞紙、雑巾、材料板（教材注文票で注文し、食堂にて受取）、ガスボンベ（食堂にて販売有）、彫刻刀（必要に応じて）
特別な施設での活動	交流の家が貸し出すもの
	<input type="checkbox"/> たわし <input type="checkbox"/> 火ばさみ <input type="checkbox"/> バーナーヘッド

備考	<p>□作り方はホームページよりダウンロードが可能。</p> <p>□人数が多い場合は、富士ピロティで説明や磨く作業を行うことがある。また、団体の人数が多い場合には、調整の段階でローテーションを組んで実施することがある。その場合は、全員がガスバーナーで焼き終えるまでに待ち時間が生じるため、その間の過ごし方を事前に計画しておくが良い（デザインを考える等）。</p>
----	--

活動の流れ

焼き板


	時間	項目	内容	備考
活動内容 (手順)	15分	準備	□食堂で材料を受け取る。	
	90~120分	焼き板 作成	<p>□職員による焼き板作成の説明を受ける。</p> <p>□ガスバーナーで焦げ目がつくまで焼く。</p> <p>□焼いた板をたわし、雑巾の順番で磨く。</p> <p>□色をつけるための下書きをする。</p> <p>□ポスカ等で字や絵を描く。 (新聞を敷き、机にポスカが付かないようにする)</p> <p>□きりで穴を開けヒートンを固定し、ひもを通す。</p>	バーナー使用時は引率者が必要。
	15分	片付け	□新聞紙等のゴミを掃除する。	
	15分	発表	□作成した焼き板をクラス等で発表する。	
	想定される リスク	<p>□けが（板のとげが刺さる、のこぎり、きり、彫刻刀での裂傷）</p> <p>□やけど（ガスバーナー、焼いた直後の板）</p> <p>□ガス中毒（ガスバーナーのガスを吸い込む）</p> <p>□ガスボンベへの引火、爆発</p>		
指導の バリエーション	<p>□かまどの火で板を焼くこともできる（ガスバーナーを使用しないで焼く）。</p> <p>□焼く前に、のこぎりで好きな形に切ったり、彫刻刀で彫ったりすることもできる。</p>			



特別な施設での活動

キャンプファイヤー（CF）

自然の中で炎を囲み、ゲーム、ソング、ダンス、スタunts等を行うことで連帯感や友情を深めることができ、研修前半で実施すれば緊張をほぐし、親睦を深める効果があり、後半に実施すれば研修のまとめや自己を深く見つめる場になります。

場所	営火場（4ヶ所）	対象	小学生以上	
所要時間	1～1.5時間	人数	20～300人	
時期	5～10月 （これ以外は要相談）	天候	小雨可 （荒天時要相談）	
指導	なし	提出書類	教材注文票	
経費	角材 480円/1本 灯油 時価 キャンプファイヤーセット①（201名以上）11,270円 キャンプファイヤーセット②（100～200名）9,660円 キャンプファイヤーセット③（100名未満）8,050円			
活動の教育的効果	（1）ゲームやスタuntsを通し、友情と親睦を深めることができる。 （2）キャンプファイヤーの企画や運営を通し、リーダー性や自主性を養うことができる。 （3）火を見つめながら、自分の心を見つめ直すことができる。			
準備するもの	団体が準備するもの			
	<input type="checkbox"/> 個人：軍手 <input type="checkbox"/> 団体：CD・音源、トーチ、角材・薪（食堂に注文、持ち込みも可）、マッチ、懐中電灯、新聞紙、衣装（必要な場合）			
	交流の家が貸し出すもの			
	<input type="checkbox"/> 杖 <input type="checkbox"/> 延長コード <input type="checkbox"/> ポータブルアンプ <input type="checkbox"/> 拡声器 <input type="checkbox"/> CDデッキ <input type="checkbox"/> リアカー			
備考	<input type="checkbox"/> トーチの作り方(参考資料： トーチの作り方)			

特別な施設での活動

活動の流れ

キャンプファイヤー（CF）

	時間	項目	内容	備考
活動内容 (手順)	事前	役割分担	<input type="checkbox"/> 役割分担をする	
		安全指導	<input type="checkbox"/> トーチを持つ方への安全指導 <input type="checkbox"/> 大きな火の周りでレクをする事への注意喚起	
	60分	準備	<input type="checkbox"/> 食堂裏で角材・薪・灯油を受け取る <input type="checkbox"/> 営火場へ角材等を運び、セッティング	セッティングは団体で実施
	90～120分	展開例	<input type="checkbox"/> 第一部（迎火のつどい） ・入場、開会 ・歌「遠き山に日は落ちて」 ・点火する人の入場、分火、点火 ・閉会 <input type="checkbox"/> 第二部（交歓のつどい） ・開会、レクリエーション、スタンツ ・歌 ・閉会 <input type="checkbox"/> 第三部（送火のつどい） ・開会、歌、誓いの言葉 ・送火、歌「今日の日はさようなら」 ・退場、閉会	消火確認
	60分	片付け	<input type="checkbox"/> 残り火がないか確認する。 <input type="checkbox"/> 掃除用具庫より道具を持っていく。 <input type="checkbox"/> 一輪車で灰捨て場に捨てる。	まだ燃えている時は翌朝に片付ける。水をかけない。
想定されるリスク	<input type="checkbox"/> けが（準備段階での角材や薪で指を挟む、とげが刺さる） <input type="checkbox"/> やけど（衣服に火が燃えうつる、火の粉が体や衣服につく、トーチの布が緩んで落ちる） <input type="checkbox"/> 火事（風力や風向き、乾燥期等の天候を最大限考慮する） <input type="checkbox"/> 転倒（暗闇の中のレクリエーションや出し物のとき）			
指導のバリエーション	<input type="checkbox"/> 火を小さくし、火を見つめながら仲間と語るよう指導する。 <input type="checkbox"/> この展開例は、セレモニーやスタンツに重きを置いた一例。こうした展開にこだわらず、団体の計画や参加者主体の自由な発想での実施をする。			



【第一営火場】 最大定員：約 300 名
電源、照明、水道有、円形3段づく



【第二営火場】 最大定員：約 200 名
電源、照明、水道有、木製ベンチ有、円形フラット



【第三営火場】 最大定員：約 100 名
電源、照明、水道有、木製ベンチ有、円形フラット

特別な施設での活動

キャンドルのつどい（CS）

ろうそくの炎を囲み、ゲーム、ソング、ダンス、スタunts等を行うことで連帯感や友情を深めることができ、研修前半で実施すれば緊張をほぐし、親睦を深める効果があり、後半に実施すれば研修のまとめや自己を深く見つめる場になります。

場所	体育館・研修室等	対象	小学生以上
所要時間	1～1.5時間	人数	～200人程度
時期	全シーズン	天候	制限なし
指導	なし	提出書類	教材注文票 ※必要な場合のみ
経費	燭台用ろうそく：1本250円 手持ち用ろうそく：1本15円		



活動の教育的効果	(1) レクリエーションやスタuntsを通し、友情と親睦を深めることができる。 (2) 燃える火を見つめながら、自分の心を見つめ直すことができる。 (3) つどいの企画や運営を通し、リーダー性や協力性を養うことができる。
準備するもの	団体が準備するもの
	<input type="checkbox"/> 個人：軍手、上履き（活動場所による） <input type="checkbox"/> 団体：CD・音源、ろうそく（レストランに注文、持込み可）、懐中電灯、マッチ、着火棒、衣装（必要な場合）
備考	交流の家が貸し出すもの
	<input type="checkbox"/> 杖 <input type="checkbox"/> 延長コード <input type="checkbox"/> CDデッキ <input type="checkbox"/> ポータブルアンプ・拡声器 <input type="checkbox"/> 手持ち燭台（大34個・小300個） <input type="checkbox"/> 大燭台（保管場所等は備考欄を参照）
備考	大燭台の保管場所 （各場所1台、1台10～20本程度のろうそくを配置可能、備え付けのブルーシートの上に設置して使用） ・体育館（ミーティングルーム） ・柔道場 ・剣道場 ・研修館「富士」307ベランダ

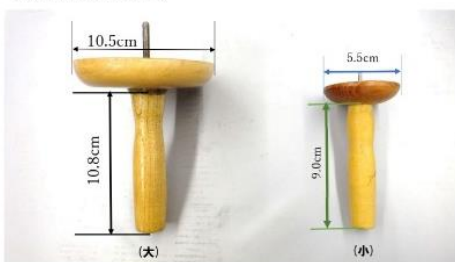
特別な施設での活動

活動の流れ

キャンドルのつどい（CS）

	時間	項目	内容	備考
活動内容 (手順)	事前	役割分担	<input type="checkbox"/> 役割を分担する。	
	30分	準備	<input type="checkbox"/> 食堂でろうそくを受け取る。 (食堂で購入の場合) <input type="checkbox"/> 会場に大燭台を運び、セッティング	
	5分	安全指導	<input type="checkbox"/> 燭台の釘に注意 (目の高さにある。) <input type="checkbox"/> 火を取り扱う事についての注意喚起	
	60~90分	展開例	<input type="checkbox"/> 第一部 (迎火のつどい) ・ 入場、開会 ・ 歌「遠き山に日は落ちて」斉唱 ・ 聖火入場 ・ 点火の言葉、分火、点火 ・ 歌、閉会 <input type="checkbox"/> 第二部 (交歓のつどい) ・ レクリエーション、スタンツ ・ 歌 <input type="checkbox"/> 第三部 (送火のつどい) ・ 歌「一日の終わり」斉唱 ・ 誓いの言葉 ・ 送火 ・ 歌「今日の日はさようなら」 ・ 退場、閉会	
	20分	片付け	<input type="checkbox"/> 消し忘れがないか確認する。 <input type="checkbox"/> 燭台とシートを元の場所へ戻す。 <input type="checkbox"/> 床に落ちたろうそくを片付ける。	消火確認
想定される リスク	<input type="checkbox"/> けが (準備段階で燭台を足に落とす、燭台の釘でけがをする) <input type="checkbox"/> やけど (衣服に火が燃えうつる。ろうそくが皮膚につく) <input type="checkbox"/> 火事 (乾燥期等の天候を最大限考慮する) <input type="checkbox"/> 転倒 (暗闇の中のレクリエーションや出し物)			
指導の バリエーション	<input type="checkbox"/> ろうそくの代わりに懐中電灯を使用する (懐中電灯は団体で用意する)。			

燭台(おおよその大きさ)



台(手で持つと...)



体育館(最大22本) ※ミーティングルームにあります。

特別な施設での活動

ディスクゴルフ

フライングディスク（プラスチック製の円盤）を使い、所内に設置した常設コース（9ホール）を回り、各ホール何投でゴールすることができるかを競います。自然に触れながら、仲間と一緒に活動する楽しさや、個人で投げ方を工夫して挑戦する活動です。

場所	ディスクゴルフ場	対象	幼児以上
所要時間	1～2時間	人数	1グループ5人程度
時期	全シーズン	天候	小雨可 (荒天時要相談)
指導	なし	提出書類	なし
経費	なし		



活動の教育的効果	<p>(1) ゲームを楽しみながら、各自のスコアを競う楽しさを味わうことができる。</p> <p>(2) グループ活動とすることで、協調性を育むことができる。</p>
準備するもの	団体が準備するもの
	<input type="checkbox"/> 個人：筆記用具、水筒、帽子、雨具（雨天時）、虫除けスプレー（季節に応じて） <input type="checkbox"/> 団体：スコアカード
	交流の家が貸し出すもの
	<input type="checkbox"/> フライングディスク（60枚）
備考	<input type="checkbox"/> スコアカードはホームページよりダウンロード可能。

活動の流れ

ディスクゴルフ

	時間	項目	内容	備考
活動内容 (手順)	事前	グループ編成	<input type="checkbox"/> 事前にグループ編成を行う。	
		準備	<input type="checkbox"/> 用具を借りる。(ディスク) <input type="checkbox"/> スコアカード・ディスクの配付。 <input type="checkbox"/> 引率者は各ホールでの活動の様子を確認する。	
	10分	安全指導	<input type="checkbox"/> 集合・体調確認 <input type="checkbox"/> 活動方法の説明 ・1番ホールから9番ホールまで順番に歩いて回る。 ・早くゴールしても前のグループを追い越さない。 <input type="checkbox"/> 安全の指導 ・木の根や切り株、地面の凹凸等足元に注意する。 ・立木の枝を払い避ける時に後ろの人に注意する。 <input type="checkbox"/> コース、人数、安全指導等を確認する。	
	50~90分	グループでの活動	<input type="checkbox"/> 5mから10mの距離でスローイングの練習をする。 <input type="checkbox"/> スタートの方法 (1) グループごとに1番ホールからスタートする。 (2) 3グループに分け、1・4・7番ホールからスタートする。 (3) 全体を9グループに分け、各ホールからスタートする。 <input type="checkbox"/> 9ホール終了したら、集合場所で待機する。 ・グループでスコアカードの集計をする。	スローイングの練習を十分に行わないと、ディスクを失くすことが多い。
	10分	片付け	<input type="checkbox"/> スコアをまとめ成績発表・まとめの話等を行う。 <input type="checkbox"/> 貸出物品の数を確認し、事務室に返す。	
想定されるリスク	<input type="checkbox"/> 投げたディスクが他人に当たる。ディスクを取り損ねて突き指をする。 <input type="checkbox"/> 他団体の活動への支障になる。 <input type="checkbox"/> 転倒、立木の枝等による引っかき傷 <input type="checkbox"/> 蜂の巣等に注意する 等			
指導のバリエーション	<input type="checkbox"/> 一つのディスクをグループ内で順番を決めて投げ、スコアを競う。 <input type="checkbox"/> グループの一人ひとりのスコアを集計して、グループごとの総合スコアを競う。			

特別な施設での活動

グラウンドゴルフ

木製のスティックと専用のボールを使い、所内に設置するコース（8ホール）を回り、ホールポストと呼ばれる円の中にボールを何打で入れることができるかを競います。自然に触れながら、仲間と一緒に活動する楽しさや、個人で打ち方を工夫してスコアに挑戦する活動です。

場所	グラウンドゴルフ場	対象	幼児以上
所要時間	1.5～2時間	人数	1グループ5人程度
時期	全シーズン	天候	小雨可 (荒天時要相談)
指導	なし	提出書類	なし
経費	なし		



活動の教育的効果	(1) ゲームを楽しみながら、各自のスコアを競う楽しさを味わうことができる。 (2) グループ活動とすることで、協調性を育むことができる。
準備するもの	団体が準備するもの
	<input type="checkbox"/> 個人：筆記用具、水筒、帽子、雨具（雨天時）、虫除けスプレー（季節に応じて） <input type="checkbox"/> 団体：スコアカード
	交流の家が貸し出すもの
	<input type="checkbox"/> 木製スティック（25本） <input type="checkbox"/> フラッグ <input type="checkbox"/> 子供用木製スティック（10本） <input type="checkbox"/> ボール（50個）
備考	<input type="checkbox"/> スコアカードはホームページよりダウンロード可能。

活動の流れ

グラウンドゴルフ

	時間	項目	内容	備考
活動内容 (手順)	事前	グループ編成	<input type="checkbox"/> 事前にグループ編成を行う。	
		準備	<input type="checkbox"/> 用具を借りる。(スティック・ボール) <input type="checkbox"/> スコアカード・スティック・ボールの配付。 <input type="checkbox"/> 引率者は各ホールで活動の様子を確認する。	
	10分	活動方法の説明と安全指導	<input type="checkbox"/> 集合・体調確認 <input type="checkbox"/> 活動方法の説明 ・1番ホールから8番ホールまで順番に歩いて回る。 <input type="checkbox"/> コース、人数、安全指導等を確認する。 <input type="checkbox"/> 安全の指導 ・スティックを振る時は、周囲の人の動きに注意する。 ・ボールが当たらないように注意する。	
	50~90分	グループでの活動	<input type="checkbox"/> スタートの方法 (1) グループごとに1番ホールからスタートする。 (2) 3グループに分け、1・4・7番ホールからスタートする。 (3) 全体を8グループに分け、各ホールからスタートする。 <input type="checkbox"/> 8ホール終了したら、集合場所で待機する。 ・グループでスコアカードの集計をする。	
	10分	片付け	<input type="checkbox"/> スコアをまとめ、成績発表・まとめの話等を行う。 <input type="checkbox"/> 貸出物品の数を確認し、事務室に返却する。	
想定されるリスク	<input type="checkbox"/> 振ったスティックが周囲の人に当たる。打ったボールが他人に当たる。 <input type="checkbox"/> 他団体の活動への支障になる。 <input type="checkbox"/> 転倒、立木の枝等による引っかき傷 等			
指導のバリエーション	<input type="checkbox"/> 一つのボールをグループ内で順番を決めて打ち、スコアを競う。 <input type="checkbox"/> グループの一人ひとりのスコアを集計して、グループごとの総合スコアを競う。			

特別な施設での活動

チャレンジ・ザ・ゲーム

日本レクリエーション協会が開発した、グループで交流しながら、遊び感覚で身体を動かす楽しさや達成できたときの喜びを味わうことができるスポーツ・レクリエーションです。

場所	体育館・柔剣道場等 屋外でも可	対象	小学生以上
所要時間	1種目15分程度	人数	1種目20人程度
時期	全シーズン	天候	制限なし
指導	なし	提出書類	なし
経費	なし		



活動の教育的効果	(1) 身体を動かす楽しさや達成できた喜びを味わうことができる。 (2) 力を合わせることの大切さを体感する等、協調性を育むことができる。
準備するもの	団体が準備するもの
	<input type="checkbox"/> 個人： 体育館シューズ、運動のできる服装、タオル、水筒
	交流の家が貸し出すもの
	<input type="checkbox"/> 各種目の道具（種目と備品数は備考欄を参照） <input type="checkbox"/> ストップウォッチ
備考	<input type="checkbox"/> 種目と貸出可能な道具の数 ・キャッチング・ザ・スティック：40本(20人分) ・サークル・ジャンプ：ロープ付きボール3個 ・ペア・リング・キャッチ：20個 ・ロープ・ジャンピング：10m10本 25m8本 ・ネット・パス・ラリー：ボール2～5個 毛布2～5枚

特別な施設での活動

活動の流れ

チャレンジ・ザ・ゲーム

	時間	項目	内容	備考
活動内容 (手順)	事前	種目の選 定 グループ 編成	<input type="checkbox"/> 1班6~10人程度 <input type="checkbox"/> 種目を選定 <input type="checkbox"/> 1種目:15分程度 <input type="checkbox"/> 事務室にて用具を借りる。	
	15分	活動方法 の説明 準備運動	<input type="checkbox"/> 流れと安全に関する注意(各団体) <input type="checkbox"/> 準備運動 <input type="checkbox"/> 各種目のルール・活動方法の説明	
	40~90分	競技	<input type="checkbox"/> グループごとに各種目をローテーションで行う。 <input type="checkbox"/> 結果を発表する。	・2種目 …40分程度 ・3~4種目 …60分程度 ・5種目 …90分程度
	5分	片付け	<input type="checkbox"/> 用具を事務室に返却する。	
想定される リスク	<input type="checkbox"/> 熱中症（水分補給を十分に行わなかったとき） <input type="checkbox"/> 捻挫（着地や移動したとき） <input type="checkbox"/> 転倒（着地や移動したとき） <input type="checkbox"/> 突き指(リングを受け取るとき)			
指導の バリエーション	<input type="checkbox"/> レクリエーションを目的とした場合の指導方法 <input type="checkbox"/> チームビルディングを目的とした場合の指導方法			



キャッチング・ザ・スティック



ネット・パス・ラリー



サークル・ジャンプ



ペア・リング・キャッチ



ロープ・ジャンピング

特別な施設での活動

ビーチコートプログラム

ビーチバレーコート2面分、ビーチサッカーコート1面分の広大な砂場で、砂遊びから各種ビーチスポーツ、トレーニング等、幅広く利用できます。

場所	ビーチコート	対象	幼児以上
所要時間	活動内容による	人数	~200名
時期	全シーズン	天候	小雨可 (荒天時要相談)
指導	なし	提出書類	なし
経費	なし		



準備するもの	団体が準備するもの
	<input type="checkbox"/> 下足とは別の靴底がきれいな靴 <input type="checkbox"/> 各団体が計画に必要な物 <input type="checkbox"/> 帽子 <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> 水筒
	交流の家が貸し出すもの
	<input type="checkbox"/> ビーチバレー（支柱、ネット、ボール） <input type="checkbox"/> ビーチサッカー（ゴール1組、ボール） <input type="checkbox"/> フレスコボール（ラケット、ボール） <input type="checkbox"/> 砂遊び道具 ※上記の物品は、ビーチコート横の倉庫にある。
備考	<input type="checkbox"/> 利用の際は、「素足」または「下足とは別の靴底がきれいな靴」を用意する。 （足を拭くための雑巾あるとよい）

特別な施設での活動

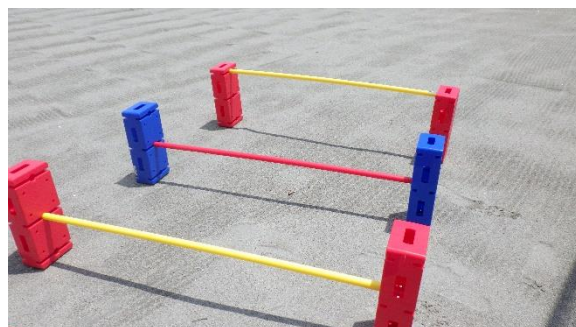


ビーチバレーコート2面、ビーチサッカーコート1面を取ることができる。

活動の流れ

ビーチコートプログラム

	時間	項目	内容	備考
活動内容 (手順)		準備	<input type="checkbox"/> コートの準備（必要に応じて）	
			<input type="checkbox"/> 安全に留意して自由に活動する。	
		片付け	<input type="checkbox"/> トンボ（均し棒）で整地する。 <input type="checkbox"/> 使用した用具をきれいに片付ける。	
想定される リスク	<input type="checkbox"/> 熱中症（ビーチコート内に日陰はない） <input type="checkbox"/> 捻挫			
指導の バリエーション	<input type="checkbox"/> なし			



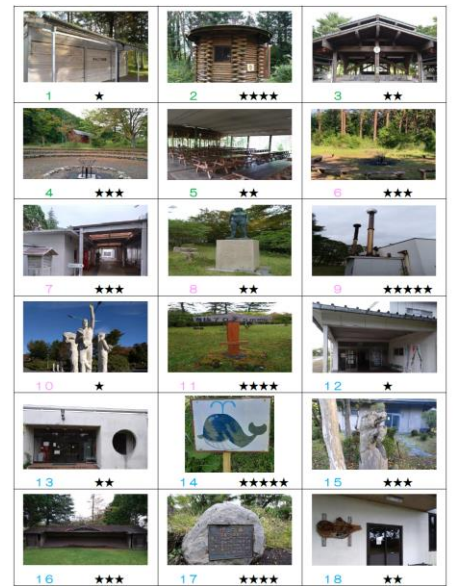
特別な施設での活動

ビジュアルオリエンテーリング

問題用紙にある写真を手掛かりに、所内の建物や設置物を探す活動です。写真の場所を見つけ出す面白さや現在地を探る楽しさがあり、グループで活動するため仲間づくりにもなります。また、所内で活動するため、雨天プログラムや短時間プログラムとしても活用することができます。写真を使用した問題設定になっているため、外国の方も楽しめます。

所内での活動

場所	所内全域	対象	小学生以上
所要時間	1.5～2 時間	人数	1グループ6人程度
時期	全シーズン	天候	小雨可 (荒天時は相談)
指導	なし	提出書類	なし
経費	なし		



活動の教育的効果	<p>(1) グループで問題を解きながら活動することで、達成感を感じることや仲間と協力することの大切さを知ることができる。</p> <p>(2) 最初の活動プログラムとして行うことで、建物・施設の把握に役立てることができる。</p> <p>(3) 自然に関する要素が含まれており、環境に興味を持つ機会となる。</p>
準備するもの	<p style="text-align: center;">団体が準備するもの</p> <p><input type="checkbox"/>個人：筆記用具、時計、雨具、水筒、帽子</p> <p><input type="checkbox"/>団体：解答用紙、救急バッグ</p>
	<p style="text-align: center;">交流の家が貸し出すもの</p> <p><input type="checkbox"/>問題用紙 <input type="checkbox"/>バインダー</p> <p>※問題用紙はラミネートしたものの貸し出しが可能。</p> <p>※上記の物品は1グループに1セットの貸し出しが可能。</p>
備考	<p><input type="checkbox"/>問題用紙と解答用紙はホームページからダウンロード可能。</p>

活動の流れ

ビジュアルオリエンテーリング

	時間	項目	内容	備考
活動内容 (手順)	事前	グループ編成とミーティング	<input type="checkbox"/> 事前にグループ編成を行う。 <input type="checkbox"/> 目的や活動方法に応じたグループミーティングを行う。 例：・時間内に何点とるか話し合う ・約束や目標を決める	事前にグループ数を報告
	15分	活動方法の説明と安全指導	<input type="checkbox"/> 軽くウォーミングアップをする。 <input type="checkbox"/> 問題・解答用紙を各班に配付する。 <input type="checkbox"/> 活動の方法を説明する。 <input type="checkbox"/> 安全に関する注意を行う。	※指導は団体責任者（引率者）
	90～120分	活動	<input type="checkbox"/> （事前ミーティングを行わない場合）回る順序等、行動計画を話し合う。 <input type="checkbox"/> 一斉、または時間差で出発する。	
	15分	集合片付け	<input type="checkbox"/> メンバー全員を確認する。 <input type="checkbox"/> 解答を伝え、得点を集計する。 <input type="checkbox"/> 目的や活動方法に応じたグループミーティングを行う。 例：・約束は守れたか ・目標が達成できたか ・できなかった理由は何か 等 <input type="checkbox"/> 貸出物品を返却する。	
想定されるリスク	<input type="checkbox"/> 転倒、木の枝による傷 等 <input type="checkbox"/> 他団体の活動への支障			
指導のバリエーション	<input type="checkbox"/> 目的に応じて、活動後のミーティングの視点を設定。 例：他者理解 <input type="checkbox"/> 対象者の発達段階や時間に応じて、探検ラリー等、他の活動プログラムと併用して実施することも可能。			

所内での活動

プロジェクトアドベンチャー

プロジェクトアドベンチャーは（Project Adventure）は、体験型学習を通じて個人やチームの成長を促す手法です。アクティビティを通じて、信頼、コミュニケーション、チームワークなどを学び、ふりかえりによってその学びを日常に深めます。コースは「2～3時間コース」と「6時間コース」があります。

所内での活動

場所	屋内施設	対象	小学校～大学/専門学校 企業/スポーツチーム,部活動/ゼミ
所要時間	2～3時間（学校） 6時間 （全団体※学校含む）	人数	要相談
時期	全シーズン	天候	制限なし
指導	外部講師あり	提出書類	【指導依頼申込欄】
経費	2～3時間 : 一人当たり 5,000 円 6時間 : 一人当たり 10,000 円		



活動の教育的効果	<p>(1) 対人スキルの向上：様々な状況に応じて、相手にわかりやすく伝える力を身に付ける。</p> <p>(2) 支え合う力の育成：互いに協力し、助け合う姿勢や行動を通じて、個人やチーム全体の目標達成に向けて支援し合う力を身につける。</p> <p>(3) 信頼関係の強化：目標に関連した成果を上げるために、メンバー同士が相互に理解し、信頼し合うようにする。</p>
準備するもの	団体が準備するもの
	<input type="checkbox"/> 個人：うごきやすい服装 <input type="checkbox"/> 団体：救急バッグ
	交流の家が貸し出すもの
	なし
備考	<input type="checkbox"/> 本プログラムの講師は、株式会社プロジェクトアドベンチャージャパンが実施します。

活動の流れ

プロジェクトアドベンチャー

	時間	項目	内容	備考	
活動内容 ※一般団体向け (6時間) の場合 (手順)	15分	【導入】 オリエンテーション	□体験に向けたマインドセット/事前説明		
	45分	【活動①】 アイスブレイク	□信頼関係の基盤を作る		
	90分	【活動②】 課題解決ワーク	□積極的に相互に関わってみる		
	60分	休憩・昼食			
	80分	【活動③】 課題解決ワーク	□チームを意識して試してみる		
	100分	【活動④】 課題解決ワーク	□信頼し合えるチームを探求する		
	15分	【ディブリー フィング】 ふりかえり	□体験から得た学びを日常へ接続する		
	想定される リスク	□転倒、接触によるケガ等			
指導の バリエーション	□団体のねらいに応じて、アクティビティの内容を柔軟に実施します。				

所内での活動

